

# 高文連



# 高文連

山口県高等学校文化連盟集録

令和2年(2020年)度



専門部 演劇／合唱／吹奏楽／器楽・管弦楽／日本音楽／  
マーチングバンド・バトントワリング／吟詠剣詩舞／  
美術・工芸／書道／写真／放送／囲碁／将棋／  
小倉百人一首かるた／文芸／自然科学

# もくじ

ごあいさつ	1
各部門の報告	
演劇部門	2
合唱部門	4
吹奏楽部門	6
器楽・管弦楽部門	9
日本音楽部門	10
マーチングバンド・バトントワリング部門	12
美術・工芸部門	13
書道部門	16
写真部門	19
放送部門	21
囲碁部門	24
将棋部門	26
小倉百人一首かるた部門	28
文芸部門	30
自然科学部門	34
自主事業・補助事業の報告	37
参考資料	
令和2年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	45
令和2年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	46
令和3年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	47
令和3年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書調整基金会計予算書	48
山口県高等学校文化連盟規約	49
山口県高等学校文化連盟諸規程	52
山口県高等学校文化連盟表彰規程	53
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	54
令和2・3年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	55
全国高文連の歌	57



## ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟  
会長 開地 元典

皆様の御協力のもと、ここに令和2年度の山口県高文連の歩みを記した集録ができあがりましたことに感謝申し上げます。本連盟は昭和62年6月に発足し、32年を超える歴史をもっています。本連盟の活動は、県内外のさまざまな文化芸術活動への参加の拠点として、高校生の創造力の育成と豊かな心の醸成を行うことであり、今後も、各学校の文化部活動をつなぐ役割を果たしながら、高校生のさまざまな文化芸術活動を支援していきますので、引き続き御理解と御支援をよろしくお願ひいたします。

さて、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に対応し、高校生及び関係者の皆様方の安全・安心を最優先に考え、第42回山口県高等学校総合文化祭は内容を工夫・変更して開催したり、また残念ながら中止にせざるをえない部門があるなど、例年どおりに行うことはできませんでした。

そこで、新たに山口県、山口県教育委員会、本連盟が主催となり、山口県高等学校総合文化祭や各種コンクール、定期演奏会など中止になった7部門（演劇、合唱、吹奏楽、器楽管弦楽、日本音楽、マーチングバンド・バトントワリング、ダンス）においては、文化部活動に取り組んできた高校生の努力の成果を発揮する場としての「やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会」を開催（参加校数：47校・部活動数：78部）し、希望する部門は「やまぐち高校生部活動応援サイト」上で公開（部活動数：43部）・審査・表彰することとしました。

また、今年の第44回全国高等学校総合文化祭（高知大会）でも感染拡大対策としてインターネットを利用して「WEB SOUBUN」という名称で、大会参加者の文化の力で日本文化を生かした次世代に誇れるレガシーの創出に取り組むとして「beyond 2020」と位置づけ、本県からは49校が参加しました。

このような中、私たちが安心して文化芸術活動に打ち込めるのは、社会の平和と安泰の恩恵によるものであり、今、改めてあたりまえの日常に感謝したいと思っています。困難な状況の時こそ文化や芸術には人の心を癒し、感動と勇気を与える力があると私は確信しています。また、その担い手であるもある高校生には、仲間と困難を乗り越え、力強く前に進む力があると強く信じています。今後とも前を向き、仲間とともに力を合わせて様々な工夫や創造を重ね、新しい表現や発想の視点から文化芸術活動の可能性を示してくれることを期待しております。今、WITHコロナの流れの中、文化芸術活動をとおして、仲間同士が互いに交流を深め、それぞれの作品を鑑賞・研究しあい高校生の個の能力を高め、活動の輪を広げる。そして、いつの日か青春の思い出の1ページとして、仲間と共に語りあうことができる新たな思い出を作りだすとともに、活動内容がますます進化していくことを切に願っています。

様々な御配慮をいただきながら、工夫を凝らし例年とは違った活動とはなりましたが、平素から熱心に御指導いただいている各校の顧問の先生方や関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後とも御協力をいただきますようにお願い申し上げます。

終わりに、本連盟では高校生が優れた文化や芸術に直接ふれあって感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画し、希望の学校で開催しております。今後も、高校生の希望を取り入れながら、より多くの学校に参加していただける文化芸術活動を積極的に企画していきたいと考えておりますので、ぜひ積極的な御活用をお願いいたします。発刊の御挨拶といたします。

## 各部門の報告

# 演劇部門

理事長 近藤 真美

(山口県立防府西高等学校教諭)

### 1 演劇部門活動報告

#### (1) 演劇講習会(5月予定→変更)

当初の企画「清水美也子氏(東京在住)によるヴォイストレーニング」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、新たに、県大会入賞校の上演(映像)に対する土屋茂昭氏(東京在住)と泊篤志氏(福岡在住)の講評文を全加盟校に送付し、学校ごとに演劇研究を深めていただく形で講習を実施しました。

#### (2) 演劇指導者講習会(7月予定→中止)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

#### (3) 第44回全国高等学校総合文化祭(演劇部門)・

第66回全国高等学校演劇大会(高知大会)

7月31日～8月2日 高知県立県民文化ホール

コロナ対策のために、ウェブ開催となりました。山口県からの出場はありませんでした。

#### (4) 4地区での演劇発表会(8月予定→中止)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

#### (5) 第42回山口県高等学校総合文化祭(演劇部門)・

第39回山口県高等学校演劇大会・やまぐち高校生

2020メモリアル文化発表会(演劇部門)

10月24日・25日 東部会場:シンフォニア岩国

西部会場:下関市民会館

地区大会中止を受け、また、コロナ対策の必要から、「上演部門」では、全加盟校に出場機会を保障し、東西2会場での開催、無観客上演とし、更に「会場開催」できない場合に備え「映像開催」の準備も行いました。「生徒講評部門」では、県内全部員を対象とし、校内鑑賞会後に書いた講評文によって審査を行いました。

コロナ禍の障壁を熱意とチームワークで乗り越えようとする各校部員たちの姿が心に残る大会でした。

また、今年度の県大会は「やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会」を兼ね、県の協力で業者による上演録画、ブルーレイ作成、ウェブサイトでの録画公開が行われ、観劇の機会を補うことができました。

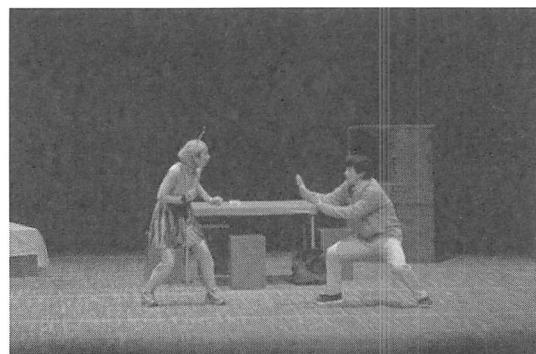
#### (6) 第58回中国地区高等学校演劇発表会

12月19日・20日 岡山市立市民文化ホール

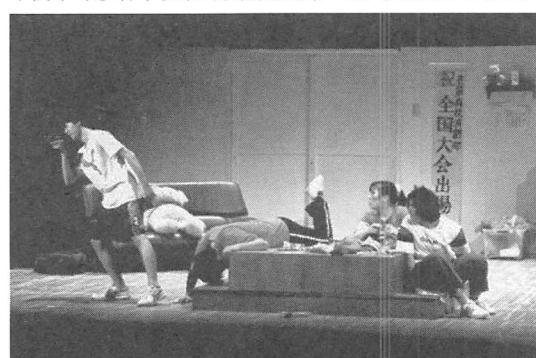
山口県代表として、華陵高校と下関中等教育学校が出場し、華陵高校が最優秀賞および創作脚本賞を受賞し、来年度の和歌山総文への出場権を獲得しました。

中国5県の演劇部部員と顧問には、コロナ対策を講じた上で観劇できる環境が整えられ、会場に出かけて生の上演を観劇できた学校もありました。

華陵高校(東部最優秀賞)「この星はブルー」



下関中等教育学校(西部最優秀賞)「僕が演劇を辞めた理由」



2 第42回山口県高等学校総合文化祭（演劇部門）・第39回山口県高等学校演劇大会・  
やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会（演劇部門）上演一覧（上演順）

**上演部門** ◎は最優秀賞（中国大会出場） ○は優秀賞 ◇は創作脚本賞 ※は創作

<東部会場> (周防地区：加盟校5校中4校上演、山防地区：加盟校7校中5校上演、1校上映)

山口中央高校	(山防1)	※名を呼ぶ者	原田 瑞希／作
○ 防府西高校	(山防2)	※ふあみりーぱーと・風（かぜ）	防府西高校演劇部／作
西京高校	(山防3)	※ごっこ遊び同好会	西京高校演劇部／作
防府商工高校	(山防4)	※二人のゆりかご	小田 柚葉／作
○ 山口高校	(山防5)	※湯けむりの向こうに	山口高校演劇部／作
○ 山口県鴻城高校	(山防6)	シャドー・ボクシング	石原 哲也／作
岩国総合高校	(周防1)	※皆ノ天授サマ	岩国総合高校演劇部／作
新南陽高校	(周防2)	※A.C.へ贈る解毒剤	羽山 紅早春／作
◎◇★華陵高校	(周防3)	※この星はブルー	華陵高校舞台芸術部／作
○ 光丘・光高校	(周防4)	※まさかさかさま	緋岡 築／作

<西部会場> (宇部地区：加盟校5校中5校上演、下関地区：加盟校7校中7校上演)

◇ 梅光学院中学校・高校 (下関1)	※なら、死ねば	重中 るり／作
宇部フロンティア (宇部1) 大学付属香川高校	※別れ際に約束を	藤村 春菜／作 藤村 奈々美／潤色
田部高校 (下関2)	ハイ・ホー 加藤 のりや／作、田部高校演劇部／潤色	
サビエル高校 (宇部2)	※悪魔とコロナと高校生	熊田 留吉／作
宇部西高校 (宇部3)	※ネリネ	嶽野 花実／作
○ 下関西高校 (下関3)	全校ワックス 中村 勉／作、下関西高校演劇部／潤色	
下関商業高校 (下関4)	毎日 起承転結	イスケ／作
○ 宇部高校 (宇部4)	※ガラクタは錆びつかない	海田 瞬之介／作
○ 下関南高校 (下関5)	※希望のcrown	うしろだ かずや／作
○ 宇部中央高校 (宇部5)	※『あ・お』	宇部中央高校演劇部／作
◎☆下関中等教育学校 (下関6)	※僕が演劇を辞めた理由	下関中等教育学校演劇部／原案 あづまや 太郎／作
長府高校 (下関7)	※タイトル未定	長府高校演劇部／作

**生徒講評部門**

<東部会場> 最優秀賞（中国大会出場） ●近藤 未来（光丘高校）

<西部会場> 最優秀賞 池本 花音（下関商業高校）／中国大会出場 ●海田 瞬之介（宇部高校）

**講 師** <東西共通> 土屋 茂昭（舞台美術家、日本舞台美術家協会副理事長、大阪芸術大学客員教授）  
泊 篤志（劇作家、演出家、「飛ぶ劇場」代表）

**審査員** <東部会場> 柳沢 悟（俳優、演出家、劇団演劇街創立に参加）

久保田 修治（劇作家、演出家、POP THEATREЯ主宰）

江後 一男（元山口県公立高校演劇部顧問）

<西部会場> 藤田 典子（下関市民劇場事務局長）

石田 康正（舞台照明家、有限会社エフェクト山陽小野田支店支店長）

村岡 圭吾（宇部鴻城高校教諭 元山口鴻城高校演劇部顧問）

**やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会の表彰**

- ★ 山口県知事賞 華陵高校 / ☆ 山口県教育委員会教育長賞 下関中等教育学校
- 山口県高等学校文化連盟会長賞（2名） 光丘高校 近藤未来 / 宇部高校 海田瞬之介

## 各部門の報告

# 合唱部門

理事長 松屋 まなみ

(山口県立萩高等学校教諭)

### 1. 活動報告

(1) やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会  
合唱専門部は、8月1日(土)～10月31日(土)までの期間で「やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会」を行いました。参加校と演奏曲目、収録会場は以下の通りです。山口高校は、管弦楽と合同で収録をし、その様子が山口県高等学校文化連盟のホームページにも掲載されています。

#### <参加校と演奏曲目>

山口県立萩高等学校

会場 ～ 萩市民館 ～

- ・さびしいカシの木 (木下牧子 作曲)
- ・ファイト (中島みゆき 作曲)

山口県立山口中央高等学校

会場 ～ 山口市民会館 ～

- ・無伴奏女声合唱のための「不思議」より  
V. 大漁 (石若 雅弥 作曲)
- ・映画「天使にラブソングを・・」より  
H a i l H o l y Q u e e n

野田学園高等学校

会場 ～ 山口県教育会館ホール ～

- ・彼方のノック (土田 豊貴 作曲)
- ・僕のこと (大森 元貴 作曲)

山口県立宇部中央高等学校

会場 ～ 山口県立宇部高等学校音楽室 ～

- ・聞こえる (新実 徳英 作曲)
- ・何度でも (中村正人・吉田美和 作曲)

山口県立山口高等学校

会場 ～ 山口県立山口高等学校記念館 ～

- ・ニュルンベルクのマイスター (ジンガー  
(リヒャルト・ワーグナー作曲)



#### (2) 令和2年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・令和2年12月3日 (木)
- ・山口県立萩高等学校中会議室
- ・出席者/部長以下10名
- ・議題/県総文、全総文、高文連表彰などについて

### 2. 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立岩国高等学校 2年 木村真澄

私たち山口県立岩国高等学校合唱部は、15年ぶりの全国高等学校総合文化祭への出場をとても楽しみにしていました。

大会への出場と遠征に心が躍り、部員一同、8月の総合文化祭に向けてモチベーションを高めていたのですが、新型コロナウイルスの流行が始まりました。総合文化祭へ向けて本格的な練習を始めようとしたところ



ろで長期に渡る休校となり、家で練習する日が多くなりました。

1人で練習をするので、発声練習をたくさんして、音程の確認と、暗譜ができるようになりました。しかし、他の部員たちと音を合わせられない寂しさや、自分がきちんと歌えているのかという不安が常に心の中にありました。

休校明けからの部活では、密を避けるため窓を開け換気をし、手指の消毒やマスクをするなど、新しい生活様式へ対応する中での練習となりました。最初はなかなか慣れず大変でした。その中で、全国高等学校総合文化祭は WEB SOUBUN として、WEB での発表となることを知りました。高知県に赴いての発表ではなく、WEB 上での発表になりましたが、自分たちの合唱を発表できる場があることを嬉しく思い、練習にも力が入りました。

私たちは、「**Ehre sei dir, Christe**」というドイツ語の曲に取り組みました。どういう意味で、どのように発音するかをみんなで確かめ合いました。新入生も入って練習するので、下級生にうまく教えられるかも不安でした。でも、練習する中で新入生にどうしたらいいのかアドバイスできるようになりました。「さびしいカシの木」も同じように歌詞の意味を考えました。歌詞の意味を考えることでどのように歌えば聞いてもらう人の心に残るか考えました。考えることで感情を込めた表現ができたと思うので、みんなでどのようにしていくか話し合うことは大事なことだと思いました。曲を仕上げるときにテンポが合わないときは、みんなで手をたたき歌うことが楽しかったです。そんな時、家で1人で行う練習よりも、やっぱりみんなで歌うほうがいいなと感じました。

WEB 発表用の動画を撮るときは、大会とはまた違った緊張がありましたが、普段音程を取るのが苦手なところもスムーズに歌うことが出来ました。歌い終わったとき、うまく歌えた達成感から、部員みんなから笑顔がこぼれました。

今回は、会場の高知県に行けず残念ではありました。いつも練習している本校教室で録画したので、リラックスして歌うことができたのは良かったのですが、他の学校の皆さんのが歌聲を実際に会場で聴いてみたかったという思いはあります。部員みんなと一緒に合唱をすること、みんなと一緒に協力して音を合わせる大切さを今回のコロナ禍の中で改めて実感しました。この

経験を活かして、今後の合唱も頑張っていきたいです。このような社会情勢の中、発表の場を設けていただきまして、まことにありがとうございました。

#### 4. その他

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、県総文をはじめ、例年部会で行っている合唱講習会、各種コンクール等、全ての行事・大会が中止となり、合唱部会の生徒同士が生で交流することができませんでした。活動制限がかかり、思うように歌えない未曾有の状況下、リモート合唱で交流を図ったり、メモリアル文化発表会という形で演奏を披露したりと、例年より縮小した形とはなりましたが、合唱活動を続けてきました。今年度最高学年であった生徒たちは、ステージに立つことができる機会を奪われ、本当に寂しい思いをしたこと思います。歌が好きで集まった生徒たちのために何ができるかを考え、これまでにはなかった新しい合唱活動の在り方を開拓しながら、部会として前進していきたいと思います。

～県下合唱部3年生有志によるリモート合唱～  
曲目<東日本大震災復興支援ソング『花は咲く』>

##### ※ 選曲理由

皆が揃って、以前のように歌える日が早く来ますように。そして、早く元通りの生活が送れますように。一人じゃない、皆が側にいる。という思いで選曲しました。



## 各部門の報告

# 吹奏楽部門

理事長 中 村 亮

(山口県立宇部高等学校教諭)

### 1 令和2年度の吹奏楽専門部の活動報告

- (1) 第 42 回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏

→新型コロナウイルス感染症対策のため中止

- (2) 第 42 回山口県高等学校総合文化祭音楽 4 部門発表会・第 71 回山口県高等学校連合音楽会

→新型コロナウイルス感染症対策のため中止

- (3) やまぐち2020メモリアル文化発表会 吹奏楽専門部  
コンテスト部門

#### ・開 催 日

令和 2 年 7 月 17 日(金)から 8 月 31 日(月)

・参加演奏 県内公私立 11 団体

・審 査 員 以下の 5 名に委嘱(敬称略)

木 管:野津 雄太 (新日本フィルハーモニー交響楽団 首席フルート奏者)

金 管:小曲 俊之 (日本センチュリー交響楽団 首席トランペット奏者)

打楽器:山澤 洋之 (打楽器奏者、広島文化学園大学 准教授)

作 曲:八木澤教司 (作曲家、神戸女学院大学 専任講師)

指 挥:大井 剛史 (東京佼成ウインドオーケストラ 正指揮者)

・各賞受賞団体

### 【 山口県知事賞 】

山口県立防府西高等学校(指揮:藤田 隆行)



### 【 山口県教育委員会 教育長賞 】

中村女子高等学校(指揮:岸 美砂子)



### 【 山口県高等学校文化連盟 会長賞 】

山口県立岩国高等学校(指揮:佐々木真一)



(4) やまぐち2020メモリアル文化発表会 吹奏楽専門部  
フェスティバル部門

- ・開催日 令和2年7月17日(金)から11月20日(金)

・参加演奏 県内公私立21団体



萩光塩高等学校



徳山高等学校

やまぐち2020メモリアル文化発表会 吹奏楽専門部  
フェスティバル部門

(5) 第44回全国高等学校総合文化祭(WEB SOUBUN)

・公開日 令和2年7月31日(金)から10月31日(土)

・参加演奏 中村女子高等学校

・演奏曲目

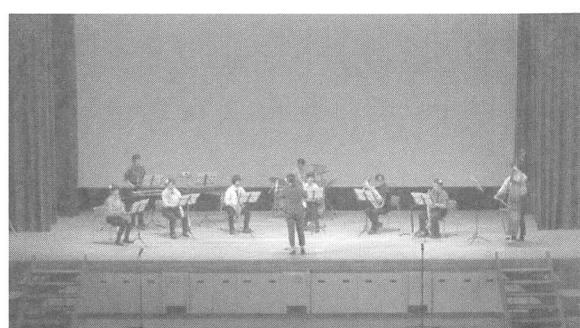
カルミナ・ブランা(C.Orff 作曲/J.Krance 編曲)

オズの魔法使い(H. Arlen 作曲/J. Barnes 編曲)

・指揮 岸 美砂子(中村女子高等学校)



宇部フロンティア大付属香川高等学校



周防大島高等学校

(6) 吹奏楽専門部総会・研修会

・開催日 令和2年12月2日(火)

・会場 宇都市文化会館 第1研修室

宇都市渡辺翁記念会館 大集会堂

・参加人数 40名

・講師 織田 浩司 先生(Saxophone 奏者)





## 2 全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門参加報告

中村女子高等学校吹奏楽部

部長 吉末 陽菜



吹奏楽専門部 研修会(協力:山口県立宇部高等学校吹奏楽部)

私たち中村女子高等学校吹奏楽部は、「第 44 回全国高等学校総合文化祭・2020こうち総文」に参加させていただきました。今年は新型コロナウイルスの影響で演奏会やコンクールが中止になり、とても残念な思いをしました。そんな中、こうち総文が Web にて開催していただけることを聞いて、とても嬉しかったです。

演奏させていただいたのは、「カルミナ・ブランナ」(カール・オルフ)、「オズの魔法使い」(ハロルド・アーレン)の 2 曲です。「カルミナ・ブランナ」の編成は合唱、歌手、オーケストラという大変大規模なもので、吹奏楽アレンジ(ジョン・クランス)も大編成によるものであり、部員 17 名で表現するのは大変でした。歌詞を調べて歌ったり、強弱のコントラストを追求したりして大曲に挑みました。同時に、名曲を深く味わうことができ、大変勉強になりました。「オズの魔法使い」は何気ない日常が大切で幸せであることに気づかせてくれる大好きな作品です。Web 発信ということで、部員が考え描いた挿絵とあらすじのまとめを演奏動画に組み込みました。観て聴いてくださる方々へ、作品のメッセージと夢いっぱいのあたたかな音楽を、コロナ禍の今、お届けしたいと思いました。

収録は初めてで、不安もありましたが、皆で協力し意見を出し合って楽しく演奏することができました。この大変な状況の中、仲間と心一つに音楽を創り奏でることができましたこと、そして多くの方々と音楽で繋がる機会をいただきましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。このたびの感動を胸にすべての学びに感謝し、日々成長できますよう励みたいと思います。



中村女子高等学校吹奏楽部

## 各部門の報告

# 器楽・管弦楽部門

理事長 秋 本 隆

(山口県立下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

### 1 やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会(代替企画)

参加校:岩国高校 柳井高校 山口高校

山口中央高校

### 2 第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)

Web開催

期日:7月31日～10月31日

参加校:山口県立防府高等学校

演奏曲目:エドワード・エルガー作曲/弦楽セレナーデ ホ短調

### 3 令和2年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会

期日:12月14日(月)

場所:下関南高校会議室

議題:第39回器楽・管弦楽スプリングコンサート(防府大会)について  
県総文、全国総文、高文連表彰、役員改選など

### 4 第39回山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽スプリングコンサート

期日:令和3年3月25日(木)

会場:防府市公会堂

主管校:山口県立防府高等学校

演奏団体:部門所属6校によるギター・マンドリン・弦楽合奏・管弦楽の演奏

今年度は新型コロナ感染症拡大防止の観点から、県総文祭の総合開会式及び音楽4部門が中止となりましたが、代替企画として開催された「やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会」に本部会から4校が参加しました。また全国総合文化祭高知大会においては、本県代表の山口県立防府高等学校がWeb演奏で参加し素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的に見ても、非常に高いものがあり、ますます発展していくことと期待しています。なお、次年度全国総文祭和歌山大会には山口県立防府高等学校が参加する予定です。

今後も新型コロナ感染症の拡大防止措置による様々な制約が発生すると思われますが、感染防止対策を講じながら、スプリングコンサートなど本部会としての独自の行事は、可能な限り開催できるように検討をしていきたいと思っています。

## 各部門の報告

# 日本音楽部門

理事長 谷 口 たかし

(高水高等学校教諭)

### 1 令和2年度日本音楽部門の活動報告

今年度は、6月18日(木)の総合開会式(於下関市民会館)に下関南高等学校・箏曲部が出演し、慶祝演奏「龍星群」を披露する予定でしたが、新型コロナウィルスのために中止。柳井高等学校主管のもとに行われる予定だった、6月20日(土)の日本音楽部門発表大会(於サンビームやなし)も取りやめとなりました。箏曲、創作太鼓、郷土芸能、長唄三味線と多彩な内容で、他ジャンルの演奏を聴いて理解を深めたり、同ジャンルの他校の演奏に刺激を受けたりすることのできる、年に一度の貴重な交流の場が失われたことは残念です。

しかし、コロナ禍だったからできたこと、見えてきたこともあります。ステージ発表ができなくなった文化部を支援するために、山口県主導のもと「やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会」が企画され、日本音楽部門からも9校が参加し、そのうち7校の演奏がWeb上に公開されました。この試みは「全国高等学校総合文化祭2020うち経文」でも”WEB SOUBUN”として行われ、柳井高等学校・箏曲部が参加しました。Web上への公開は、発表会の代替として企画されたものではありますが、消極的な意味合いにとどまらず、コロナが収まった後の活動にもつながる要素を持っているように感じました。

普段の発表会では、リハーサル室での練習や舞台袖での待機などのために、他の学校の演奏をゆっくり聞けないことが多いのですが、映像を通して他校の演奏をじっくりと聞けたため、今まで気づかなかった発見もありました。また、日本音楽以外の専門部の発表を見ることができ、他ジャンルへの興味・関心や、山口県高文連としての一体感を持つきっかけにもなったのではないでしょうか。

今年、本校の文化祭では密集を避けるために、開会式は3年生だけが体育館に入り、他学年は会場を分散したうえでライブ配信し、茶道部と長唄三味線部についてはあらかじめ録画したものを各会場に流すという形をとりました。それまでは自由観覧の時間に一部の生徒が演奏を聴くだけでしたが、録画上映だったからこそ全校生徒に見れらうことができました。例年、県の発表大会では古典曲「六段の調べ」の合同演奏を行っていましたが、準備の大変さはあるにせよ、リモートによる合奏ということも可能かもしれません。録画上映、同時配信、リモート合奏、演奏と映像との融合…と、学校現場の技術でもできる、様々な可能性が見えています。

一方、課題もあります。生の演奏は1回限りのもので、観客と同じ空気を共有することができれば良く、あとには何も残りません。しかし、録画は観客と空気を共有できないままに聴いてもらうしかない上に、いつまでも音が記録に残るのが怖いところです。演奏者の熱が画面を突き抜けて視聴者に伝わるまでのレベルは求めようもありませんが、失敗をおそれるあまり、委縮した臆病な演奏になっていたのではないか、というのが私自身の反省点です。

また、Web公開で立ちはだかるのが著作権の問題です。日本の伝統文化を継承するといった印象を持たれがちな日本音楽部門ですが、実は現代作曲家の作品の比率が高くなっています。”WEB SOUBUN”に参加した全国55グループのうち、著作権に抵触しない作品は2曲だけでした。「古典曲は著作権フリーですよ！」これは、古典曲が大好きな私の独り言です。

今回は、発表大会が中止になったため写真も限られ、例年以上の長文になりました。お許しください。



9校による合同演奏「六段の調」(昨年度の日本音楽部門発表大会より)

2 やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会に参加して  
山口県立柳井高等学校(主管校)

箏曲部顧問 弘中 世理子

今年度開催される予定だった第42回山口県高等学校総合文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止され、代わりに高校生の文化部の活動の発表の場として、やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会がWEB上で開催されることになりました。

1年ほど前から新型コロナウイルス感染状況について不安を抱きながらも、生徒と発表会に向けて練習してきました。どんどん感染の状況が悪化していく、さまざまな行事が中止となる中で、生徒にも練習の成果の発表ができる場がないことは申し訳ないような気がしていました。特に高校の最終学年である3年生は生涯の思い出となるさまざまな学校行事がなくなってしまい、後輩の部員と一緒に演奏する達成感を感じる体験ができないまま卒業となってしまうかもしれない危惧していました。今回WEB上ではありますが、このような機会が与えられたことをありがたいと感謝しています。

今回発表の場が与えられたことを受け、日々練習してきた3年生の集大成というべき楽曲の演奏を動画に撮る準備をしました。当日の動画撮影は他の部活動にも協力してもらいながら、他の音が入らないよう、早朝から行いました。特に部長、副部長は動画撮影に際し、限られた時間内で成功させるべく、プレッシャーに感じていたこと思います。準備を前日に終え、一発勝負という形で撮影に臨みました。部員全員納得のいく演奏を撮り終えた後、涙ぐむ生徒もいました。成功したからというよりは、これで引退なのだという感傷が沸き上がり、責任から解き放たれた安堵の感情も一種あったからでしょう。

今回の発表はまた通常とは違った形での参加でひとときわ記憶に残るものとなりました。来年度またどうなるかわからない状況ですが、主管校としてまた準備して臨みたいと思います。



やまぐち高校生2020メモリアル文化発表会  
撮影準備の一コマ(高水高等学校)

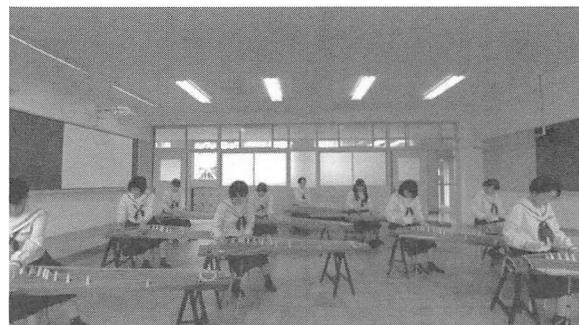
3 第44回全国高等学校総合文化祭 2020こうち総文  
(WEB SOUBUN)日本音楽部門に参加して

山口県立柳井高等学校 箏曲部

部長 3年 山本 真帆

私たち箏曲部は3年生5名、2年生5名、1年生3名の総勢13名で、週2日楽しく活動しています。今年柳井高校が山口県の主管校を担当させていただくというのは前から聞いていたので、部員全員緊張はありましたが、とても楽しみにしていました。しかし、今年は新型コロナウイルスによって想像していた舞台で発表する機会を失ってしまいました。柳井高校では毎年春に音楽3部でスプリングコンサートというものを開催していますが、そのコンサートも開催することが出来ず、心の整理をするには時間がかかりました。しかし、ネット開催という形で私たちの今まで練習してきたものをみなさんにお届けすることができ、本当に嬉しかったです。全員が普段の練習はもちろん、自主練習もたくさんして曲を仕上げていたので、発表できたことで練習は無駄ではなかったと気持ちも少し明るくなりました。ネット開催を行うことで、会場に来る予定のなかったより多くの方々に演奏を聞いてもらえていたら嬉しいです。そして1人でも多くの人の気持ちを音楽の力で明るくできていたら嬉しいです。

ネット開催期間、全国の様々な高校の演奏を聞きましたが、やはりとてもレベルが高く、自分たちの演奏がまだまだ未熟であったことを思い知りました。後輩たちもそれをひしめじと感じており、今一生懸命練習を頑張っています。来年どのような形での発表になるか分かりませんが、柳井高校箏曲部として必ずよりよい演奏をお客様に届けてくれると思います。



第44回全国高等学校総合文化祭 2020こうち総文  
“WEB SOUBUN” 日本音楽部門に参加した  
柳井高等学校 のみなさん  
来年度も引き続き発表大会の主管  
よろしくお願ひいたします！

## 各部門の報告

# マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 中 村 亮

(山口県立宇部高等学校教諭)

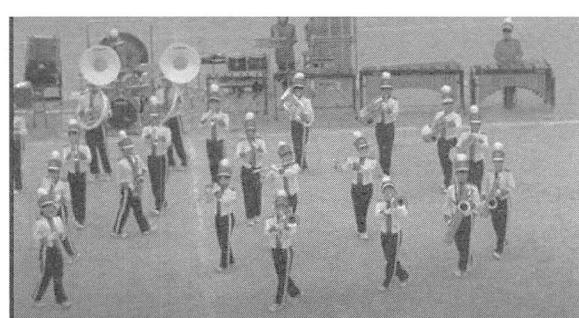
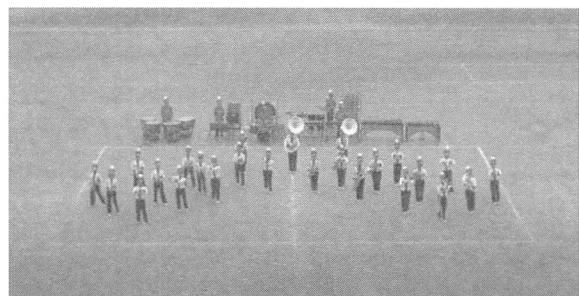
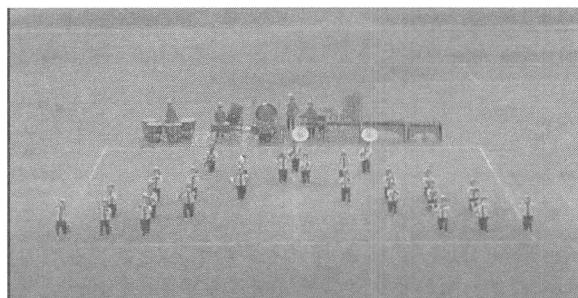
- 1 第42回山口県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏  
→新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

- 2 第42回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会・  
第71回山口県高等学校連合音楽会  
→新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

- 3 やまぐち2020メモリアル文化発表会  
マーチングバンド・バトントワリング専門部

フェスティバル部門

- ・開催日 令和2年7月17日(金)から10月31日(土)  
・参加演奏 山口県立岩国商業高等学校



#### 4 第44回全国高等学校総合文化祭(WEB SOUBUN)

令和2年7月31日(金)から10月31日(土)まで、Web上で開催されました。今年度も本県内の他の行事と日程が近いことや、自校の行事との関係で参加は困難でした。

#### 5 マーチングバンド・バトントワリング部門研修会

→新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

マーチングバンド・バトントワリングを実施する学校は年々減少しています。そこで、同部門活性化の一端として、毎年3月下旬に定期的な研修会を実施・継続して参りました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら中止いたしましたが、通常の活動が再開され次第、研修会も再開したいと考えています。

## 各部門の報告

# 美術・工芸部門

理事長 島田憲貢  
(山口県立柳井高等学校教諭)

令和2年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

### 1 第42回山口県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門

11月20日から22日までシンフォニア岩国で開催されました。美術・工芸部門には県内29校より101点の出品がありました。内訳は平面96点、立体5点です。本年度もレベルの高い大作が多く、平面では67点の作品が50号やB1の出品規定最大のサイズでした。25点が審査で優秀賞に選ばれ、さらにその中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭(紀ノ国わかやま総文2021)の出品候補作品に選ばれました。

新型コロナウィルスの感染拡大防止の観点から本年度の本大会では講評会を行いませんでしたが、会場に足を運び、展示された作品を鑑賞している一般の生徒や出品者も見られました。



#### 優秀賞(全国高総文祭出品候補作品)

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	井上 隆之介	2	GLOBAL PARADE	B1 横	絵画
柳井高等学校	吉松 曜羽	2	しがみついていタイ	S 50	絵画
徳山高等学校	岡嶋 美絃	1	浮世	F 50 縦	絵画
防府西高等学校	藤田 一花	2	アトリエ	B1 横	絵画
田部高等学校	池田 七子	2	思い出と共に	B1 縦	絵画
サビエル高等学校	山根 采奈	2	eccentric	F 50 縦	絵画

#### 優秀賞

学校名	氏名	学年	題名	大きさ	種別
岩国高等学校	岩崎 奈津	1	宇宙みたいに広い	F 50 縦	絵画
岩国高等学校	嘉屋 歩美	1	かえる街	B1 横	デザイン
岩国商業高等学校	西村 遙	3	Old Japan I envision	B1 横	デザイン

光丘高等学校	藤本 春花	2	私はどんなかおしてたっけ？	F 5 0 縦	絵画
光丘高等学校	竹本 七夕	2	心のきおく	縦 100 cm × 横 100 cm × 高さ 180 cm	彫刻
防府西高等学校	鵜飼 彩花	2	深層の境地	F 5 0 横	絵画
防府西高等学校	田村 彩音	2	デキル、	縦 100 cm × 横 80 cm × 高さ 100 cm	彫刻
山口高等学校	油屋 凜々香	3	輪 舞	F 4 0 横	絵画
田部高等学校	肥喜里 ほのか	1	脈打つ心臓	B 2 縦	絵画
豊浦高等学校	萱島 杏里	1	K e t e r	B 1 縦	デザイン
下関南高等学校	中山 萌々子	1	未知の夜明け	F 5 0 縦	絵画
下関中等教育学校	福住 友萌	2	ホットドック交響曲	F 5 0 横	絵画
下関中等教育学校	白石 小葵	1	理想	F 5 0 縦	絵画
下関中等教育学校	中河 優海	1	宿望	F 5 0 縦	絵画
下関商業高等学校	秋山 乃彩	2	夢想	F 3 0 縦	絵画
下関商業高等学校	林 夏妃	2	金木犀が魅せる秋	B 1 横	デザイン
下関商業高等学校	吉岡 真帆	2	サントリーニの光	F 5 0 縦	絵画
野田学園高等学校	井上 あすか	2	廃墟のヌシ	B 1 横	絵画
サビエル高等学校	大原 まりか	3	オモチャ箱	F 3 0 縦	絵画

## 2 第44回全国高等学校総合文化祭(こうち総文祭)美術・工芸部門

本年度の全国総文は、令和2年1月から世界に蔓延していった新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定されていた令和2年7月31日(土)～8月5日(水)の6日間の予定で実施することができなくなりました。高知県実行委員会と高知県、関係省庁との協議の結果、8月1日(日)から10月31日(土)までの期間、Web 上でのバーチャル総文という形で、全国高等学校総合文化祭はじまって以来、初の Web 総文としての開催となりました。

全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等400点の優秀作品が、こうち総文 Web 美術館にアップロードされ公開となりました。本県から出品した作品6点も、それぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として、全国の作品に負ることなく掲載されていました。また、全国大会参加校間の交流については、現地で実施する代わりとして Web 交流会が企画開催されました。Web 上の掲示板を活用したチャットでの意見交換等が行われ、参加した各学校、各生徒達による、様々な発想や発見などのやりとりが展開されました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県の生徒達も大きな刺激を受け、美術文化活動への関心を深め、今後の表現力を高める原動力にもなったことと思います。なお、この大会では優劣をつける審査等は実施していません。そして、全員に「文化連盟賞」の賞状が授与されました。

以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいています。

山口県立熊毛南高等学校 3年 上原 加菜  
題名「14歳Ⅲ」

WEB SOUBUN で、全国の同世代の作品を見て、都道府県によって作品に個性があると感じました。「この県の傾向は…」などと勝手に分析しながら見るのが面白かったです。この全国大会を通じて得た刺激を、これから自分の創作活動に繋げていきたいです。

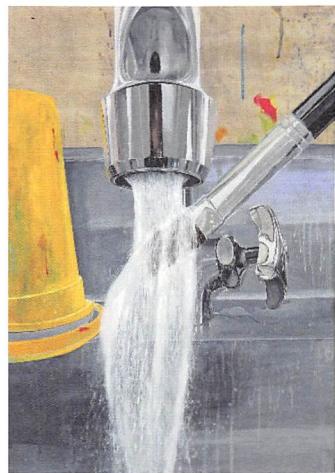


山口県立防府西高等学校

3年 原 朋美

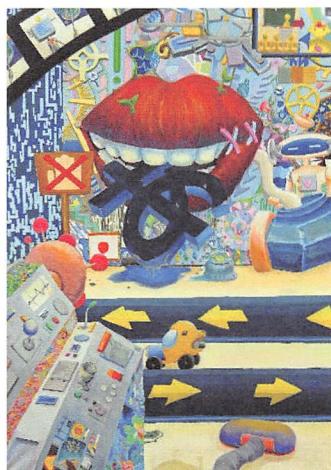
題名「流れる」

全国総合文化祭に参加できたことは、私にとって大変よい経験となりました。WEBでの大会へと変更になり、どのような内容になるのか不安もありましたが、石川県や栃木県をはじめとする、全国の出場者たちとコメントの交換ができる、とても楽しかったです。たくさん刺激を受けました。この経験を生かし、これからも頑張っていきたいです。



山口県立宇部商業高等学校 3年 河村 愛花 題名「迷走」

全国高等学校総合文化祭という大規模な行事への参加ということで、とても緊張しました。WEBで見た全国の作品は、作者独自の特徴があり、迫力がすごかったです。作者にコメントをして思いを伝えたり、全国の参加者からコメントを貰えて新しい発見があったりと、成長できました。直接見ることができず残念でしたが、開催できて良かったです。



山口県立下関西高等学校

3年 岡藤 朋葉

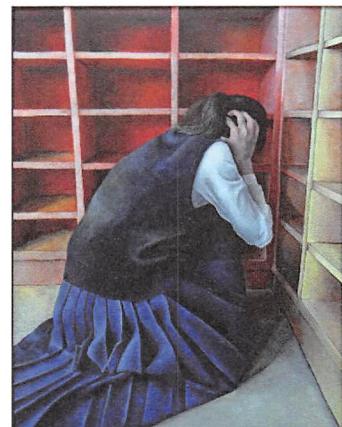
題名「マーマーレード」

日本全国から集まつた高校生の、技術の高く、創造性の豊かな作品をWeb上ではありますが、見ることができました。画面越しからでも作品の迫力や細かい描写を感じることができ、とても沢山の刺激を受けました。この経験をこれからの作品制作に生かしていきたいと思います。



下関南高等学校 3年 山本 優奈 題名「逃避」

現地で生の色合いやタッチを見られなかったことや、作品の思いを詳しく聞けなかったことは残念でしたが、ひとつひとつとの作品をじっくりと見ることができて良かったと思います。私自身が人間の内面を描いた作品であったため、心情を描いている作品は大変興味深く、表現や構図等で学ぶことが多くありました。



サビエル高等学校 3年 大原 まりか 題名「大爆発」

高知総文  
は私にとって  
2回目の総  
文でした。残  
念ながらコロ  
ナの影響で  
高知に行くこ  
とはできませ



んでしたが、Webを通して全国の方達と交流することができ、皆さんの技量、熱量が伝わってくる素晴らしい作品をたくさん鑑賞することができました。今回の総文での経験をモチベーションにこれから創作活動をよりよいものにしたいと思います。

### 3 美術・工芸専門部連絡協議会および研修会

本年度の協議会は、新型コロナウィルス感染防止対策のため文書決裁となり、今後の美術・工芸の大会運営や、県総文祭美術・工芸展覧会の出品規定などについて資料を配付し様式に承認や意見等を回答いただく形式で実施しました。また、研修資料として、各校の部活動の実施状況を入力いただき、これを整理したものを各学校へ結果報告として送付する予定です。

その他、本年度より開催予定であった生徒対象の実技講習会についても中止としたので、令和3年度の実施に向けた意見交換を行い、今後、文書にて実施案をまとめ、次年度開催につなげられるよう現在も調整を行なながら進めています。

## 各部門の報告

# 書道部門

理事長 河合和子  
(山口県立下関南高等学校教諭)

### 1 第42回山口県高等学校総合文化祭書道部門

10月31日（土）・11月1日（日）

#### おのだサンパーク大催事場

コロナ禍により、東京オリンピックを始めありとあらゆるイベントや定例行事が中止や延期を余儀なくされる中、県総文祭書道部門はいろいろな対策を講じ、講評会を取りやめ集合の場を作らないという選択をして、なんとか無事に開催することができました。

今年は県内18校より79点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文和歌山大会への出品候補作品3点を含む優秀賞12点と、奨励賞10点が選出されました。様々な不安の中、全力で書に向き合った高校生たちの作品展を開催することができて、展示された作品を観ながら本当に良かったと思いました。

講評会が無いので、観覧者が少なくても仕方が無いという心配は杞憂に終わり、出品した高校生もご家族と一緒に、時間に制限されること無く作品展を楽しんでいただけました。大きな商業施設の中の催事場での開催は、高校生に限らず、お買い物途中に通りがかった方など、やはりたいへん多くの方々に作品を見ていただくことが出来て、とても充実した作品展となりました。

#### 《優秀賞～第45回全国高等学校総合文化祭

##### 2021和歌山総文 出品候補作品》

山口県立宇部西高等学校	2年 河村 三奈
山口県立長府高等学校	2年 村上 彩菜
山口県立下関南高等学校	2年 棚谷 愛唯

#### 《優秀賞》

山口県立岩国高等学校	2年 廣岡 青依
山口県立防府高等学校	2年 松田 彩花
山口県立山口高等学校	2年 中尾 文音
山口県立山口高等学校	2年 嶋村 紗栄
山口県立宇部西高等学校	2年 仁井 貴予
山口県立下関西高等学校	2年 工藤 琉楓
山口県立下関南高等学校	2年 中村 恵子

早鞆高等学校

1年 橋口 桃夏

早鞆高等学校

1年 山城 千颯

#### 《奨励賞》

山口県立岩国総合高等学校	2年 廣本 未来
山口県立岩国商業高等学校	2年 正木 来夢
山口県立徳山高等学校	2年 杉村 朔良
山口県立山口中央高等学校	2年 久保 南々風
山口県立宇部工業高等学校	2年 太田 智弥
山口県立下関中等教育学校	2年 竹中 愛佳
下関市立下関商業高等学校	2年 宮野 真弥
中村女子高等学校	2年 田中 彩音
野田学園高等学校	2年 河村 樹里
萩光塩学院高等学校	2年 松崎 綾音

### 2 第22回高文連書道部会生徒研修会

今年度の生徒研修会は、9月に1泊2日の日程で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

研鑽・親睦の両面ともに貴重な他校の生徒との交流の場であり、特に参加経験のある生徒から残念がる声が大きく聞かれましたが如何ともしがたい状況でした。来年こそなんとか無事実施できることを祈りたいと思います。

### 3 第44回全国高等学校総合文化祭（高知大会）

本年度の全国高等学校総合文化祭書道部門は、高知県高知市にて開催される予定でしたが、多くの行事と同様、高知県に集合することは叶わず、WEB開催となりました。全国の作品を直接観たり、交流することはできませんでしたが、高知の実行委員会の皆さんのご苦労により共同作品の制作をしたり、記念品の交換をしたり、いつもとは違った形で全総文を体感しました。

山口県からは、県内の総合文化祭で選出された3校3名が、県代表として出品しました。以下に参加者の感想を付します。

第44回全国高等学校総合文化祭に参加して

山口県立山口高等学校 3年 井上愛梨

今年度は新型コロナウイルスの影響で、高知県での開催は中止となっていましたが、「WEB SOUBUN」で全国から選抜された300点もの作品を拝見することができました。作品の構成、書体、表現など全ての作品において異なり、作品ごとに様々な魅力を感じました。新鮮な感動とともにたくさんの作品を目にして、新たに挑戦したい書体や古典も見つかりました。

大作の制作は書道を続けていく上で大切なものをたくさん得ることができました。また様々な企画作品の制作もとても楽しいものでした。今回このような貴重な経験をさせていただき、本当にうれしく思います。これからも書道を続けていきたいと思いますし、またこの経験を様々なことに生かし、日々の成長に繋げていきたいと思っています。

最後に、全総文祭のために前々から準備をして下さった皆様、本当にありがとうございました。楽しみにしていた交流会の開催が中止になったのは残念ではありました。皆様のおかげで、このコロナ禍の中でも書道を通して前向きになることができました。大変な中私達のために企画し準備して下さったことに心から感謝し、この感謝の気持ちを忘れずにこれからも励んでいきたいと思います。

山口県立宇部西高等学校 2年 仁井貴予

私は今回の全国大会で「居延漢簡」を臨書しました。臨書するにあたっては文字のバランスに注意することはもちろんのこと、木簡の特徴的な運筆を大切にすることや、紙面構成を意識して制作しました。しかし、記録集に掲載された他県の代表作品を見てみると圧倒的に迫力が異なり、自身の作品との違いに驚きました。

また、同じ古典を臨書していても強調される部分が違ったり、滲みとかすれの位置が違ったりとそれぞれ表現が異なっていて勉強になりました。

今回、新型コロナウイルス感染症の影響で高知県に行くことは叶いませんでしたが、私の念願であった全国大会に出場することができて、たくさんの作品を見て勉強することができました。本当に良い経験をすることができました。

最後になりましたが、この作品を制作するにあたってたくさんの方に助けられました。スランプに陥って思うように書けなくて落ち込んでいた時に助けてくれたのは顧問の先生や家族、部員、友人でした。本当に感謝しています。これからはさらなる高みを目指して、この感謝の気持ちを忘れずに作品制作に励んでいきたいです。

山口県立下関南高等学校 2年 中村恭子

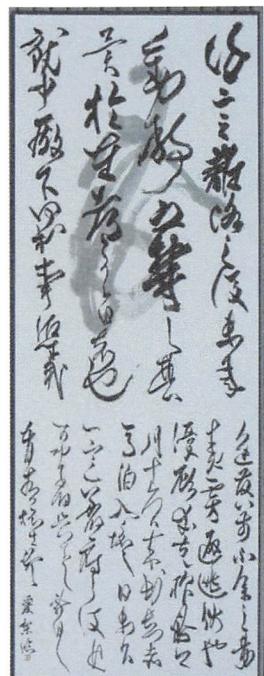
全国高等学校総合文化祭に参加できたことは、私にとってとても貴重な経験になりました。作品制作にあたっては、自分だけの「集字聖教序」が書けるよう、墨の濃淡や線の抑揚に気を遣いました。長期間ただ一つの法帖と向き合い続けたことで、技術的にも精神的にも成長できたように思います。

今回は、新型コロナウイルスの影響で開催地の高知に行くことができず、悔しい思いをしましたが、WEBでも十分に全総文祭を楽しむことができました。画面越しでも伝わってくる作品達の迫力に圧倒され、全国という舞台の凄さを感じました。

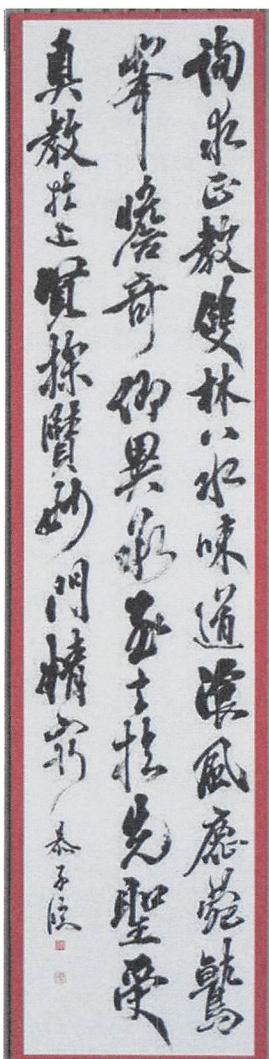
このような経験ができたのは、高知県の実行委員の皆さんや、共に切磋琢磨してきた仲間達、そして熱心に指導して下さった先生方がいらっしゃったからです。多くの人の感謝の気持ちを忘れず、これからも書道を楽しみ続けたいと思います。



宇部西高校 2年 仁井貴予



山口高校 3年 井上愛梨



下関南高校 2年 中村恭子



山口県高等学校総合文化祭書道部門 会場風景

## 各部門の報告

# 写真部門

理事長 尾崎勝利

(山口県立防府高等学校教諭)

令和2年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

### 1. 令和2年度第44回全国高等学校総合文化祭(2020うち総文)写真部門

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国高校総文写真部門は全国展・企画展をはじめとする現地でのすべての行事が中止となりました。その中にあっても、全国の出品予定者の作品は WEB SOUBUN というかたちでデータによる作品審査が行われ、Web 上での作品公開が行われました。本県からも5点の作品が出品されました。残念ながら WEB SOUBUN での本県作品の入賞はありませんでした。

### 2. 第42回山口県高等学校総合文化祭展示部門

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新南陽ふれあいセンターにおいて予定していた県総文展示部門の作品展示は中止しました。ただ次年度の全国高等学校総合文化祭写真部門出品作品を選出するため、作品の募集および審査を行いました。印刷した作品を審査員に送付し審査が行われました。今年度は10校121点の作品の応募がありました。屋外に被写体を求める機会が激減した影響が大きく、例年よりも参加校も作品点数も少なくなりました。今年度は審査の結果13点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文三重大会への出品候補作品となりました。

### 3. 写真研修会・提出作品の講評会

例年行っていました研修会を中止した代わりに、今回の県総合文化祭の出品作品に対する講評会を希望があつた学校に対して行いました。ビデオ通話によって審査員のタカオカ邦彦氏と学校とを接続し、講評する写真を学校側でプロジェクターで投影し、審査員からの講評や、撮影者からの質問などのやり取りを生徒一人一人に対して行いま

した。初めての取り組みではありましたが、審査員のご協力(複数日にわたり学校ごと・生徒ごとに講評)により、生徒は写真について深く学ぶことができたと思います。

また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ氏による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。

今後も開催可能な形を考えた研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。

### 4. その他の活動

第27回全国高等学校写真選手権大会(写真甲子園2020)の本戦出場校を決める中国ブロック決勝5校に、下松高等学校と防府高校の2校が進出し、中国ブロック審査会を経て下松高等学校が本戦出場し、本戦では審査委員長からの立木義弘賞を受賞しています。なお審査・講評など全ての取り組みが Web 上で行われました。

## 2020全国高等学校総合文化祭出品作品



夜のお遊戯会 下松高等学校 2年 原田 采奈



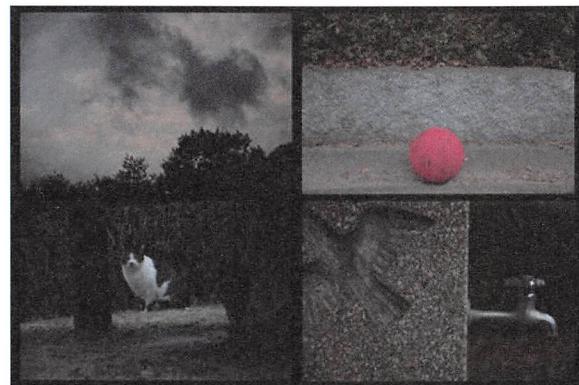
「母」からの解放 下松工業高等学校 2年 坂本 鳩雅



自称人魚姫 新南陽高等学校 2年 糸稻 友香



待ちぼうけ 防府高等学校 2年 古川 あゆみ



ある日の公園で 防府高等学校 1年 村田 七美

## 各部門の報告

# 放送部門

理事長 田 中 祐 子

(山口県立徳山高等学校教諭)

1 第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)は、8月1日と2日に高知県香南市で行われることになりました。また、毎年東京で行われている NHK 杯全国高校放送コンテストが、今年度は東京オリンピックの関係で、神戸に場所を移して8月3日から5日で開催することになりました。両方出場する生徒にとっては5日連続というかなりの強行スケジュールです。全国総文直後に高知から神戸にどうやって移動するか、出場者が同じでない場合は一度山口に戻るべきかなど、昨年度から検討に検討を重ねてきました。しかしながら、結局今年度の NHK 杯は中止、全国総文はオンライン実施という、1ミリも移動しない大会になってしまいました。昨年11月に山口県大会で選ばれていた下記の作品をデータで提出するという異例の全国大会、残念ながら山口県の作品は表彰台に登れませんでしたが、完全中止にならず、チャンスを与えていただけたことに感謝しています。

第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)放送部門出場者

### 【朗読部門】

最優秀 尾中 莉彩(山口高校3年)  
優秀 山本 結花(華陵高校2年)  
〃 高橋 和 (下関西高校3年)

### 【アナウンス部門】

最優秀 菅 里帆(山口高校3年)  
優秀賞 津田 晴香(山口高校2年)  
〃 森野 里奈(下関西高校3年)

### 【ビデオメッセージ部門】

最優秀「× - かける -」(熊毛南高校)  
優秀 「from KUDAMATSU to the WORLD」(下松高校)

### 【オーディオメッセージ部門】

最優秀「コッコー」 (熊毛南高校)

全国総文に参加した、下関西高校放送部  
3年生の森野里奈さん

私は今年度の2020こうち総文に参加して、放送活動に対する気持ちがより一層熱くなつたと感じることができました。

私はアナウンス部門に出場し、下関市で50年間クラシックバレエを教え続けている女性に取材をして、1分30秒の原稿を作成して読みました。何度も取材をして、彼女が大切にしているバレエへの思いや、生徒たちが感じている彼女の魅力を、どのような言葉を使い、どんな気持ちで読みば、読みを聞いている人たちに伝わるのかを考え、長い時間をかけて準備してきました。原稿づくりや読みが上手くいかないときもありましたが、先生方や部員のみんなが親身になって相談に乗ってくれたおかげで、いつも前向きに練習に取り組むことができました。

今年度の総文は新型コロナウイルスの感染防止のため、オンラインで開催されました。また、毎年行われる山口県の放送部員の合宿や練習会は中止となりました。これまで互いに助け合ってきた部員たちと気軽に会えなくなつたうえに、他県の放送部員と交流する機会も無くなり、とても残念な気持ちでいっぱいになりました。しかしコロナ禍の状況になって、放送活動が普通にできることの有難さや、直接会って相手の気持ちを感じて取材をすることができる喜びを強く感じることができました。そして、今年の総文を楽しみにしていた全国の放送部員のために大会の運営をしてくださった関係者の方々やこれまで何度も取材を受けてくださった人たち、熱心に指導してくださった先生方、助け合ってきた山口県の放送部員のみんなに心から感謝の気持ちを伝えたいと思いました。普段の大会とは異なり、観客のいない場所で一人で原稿を読むのは少し違和感がありましたが、いつもと同じように伝えたい人や取材した人たちの顔を思い浮かべながら読みました。オンラインという形式ではありましたが、山口県の代表として自信をもって悔いなく総文を終えることができたと思います。

山口県は放送部員の数は少ないですが、部員それぞれが一生懸命練習に取り組み、上を目指して頑張ってい

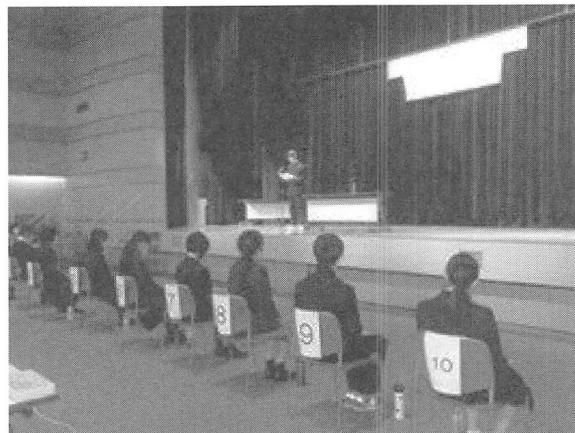
ます。今年だからこそ感じられた放送活動の有難さや喜びを忘れずにこれからも活動していってほしいと思っています。

2 第42回山口県高等学校総合文化祭第27回放送部大会は10月31日(土)に山口県健康づくりセンターにて読みの部門(アナウンス部門と朗読部門)を実施しました。例年は午前中に読みの部門を終えて午後からは番組部門の審査を行ってきました。しかし、今年は昼食や前泊による感染リスクを発生させないために、午後のみで、読みの部門だけを会場実施することにしました。会場も例年より大きな会場を借りるなど、感染リスクを低くするためのあらゆる対策を講じました。今年は学校行事や地域行事の多くが中止されたため、放送部の日頃の努力の成果を発揮できる舞台がほとんどありませんでした。せっかく放送部に入ったのだから、一度は大きなステージでマイクを使って発表したいと願う生徒たちの気持ちに応えて、顧問の先生方が協力して開催を支えてくださいました。

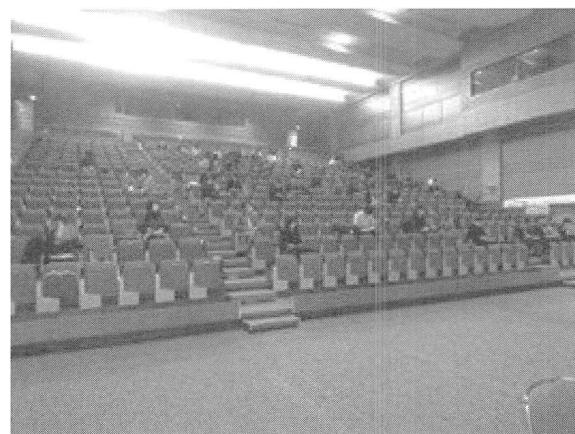
番組については、翌週の11月7日(土)に Google Drive 上で公開し、Google Form を使って生徒や教員の感想を集めという試みを行いました。多くの生徒からの感想を集約し、作品制作に届けることができて、生徒たちの番組を作る意欲と技術をどうにか来年につなぐことができたのではないかと思います。

参加人数は、朗読部門22人、アナウンス部門18人、オーディオピクチャー部門3校3作品、ビデオメッセージ部門4校5作品となり、昨年度より減少しましたが、当日の不参加もなく、すべて予定通り行えたことは大きな収穫でした。

この大会の上位入賞者は令和3年1月30日(土)31日(日)に第6回中国地区高等学校放送コンテスト、並びに、令和3年8月4日(水)5日(木)に和歌山県で開催される、第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021 放送部門に参加します。中国大会は既にオンライン開催が決まっていますが、来年度実施の全国大会が現地開催される状況になることを心から願っています。



ステージ発表の様子



学校ごとに分散して見学する生徒たち

#### 山口県大会結果（エントリ一番号順）

##### 【朗読部門】

最優秀	高野 紗希	山口高校1年
優秀	小笠原 涼乃	下松高校1年
優秀	津田 晴香	山口高校2年
以上3名全国大会出場		
入選	山本 結花	華陵高校2年
入選	内山 空	下関西高校2年
入選	久芳 彩乃	下関西高校2年
入選	田中 楓香	山口高校2年
入選	江村 優果	下松高校2年
入選	西川 哲平	下松高校2年
入選	佐藤 桜子	下関西高校1年
以上10名中国大会出場		

##### 【アナウンス部門】

最優秀	伊藤 蒼彩	徳山高校2年
優秀	中山 ひかる	光高校1年
優秀	渡邊 葉	山口高校1年
以上3名全国大会出場		

入選	西山 真未	山口高校2年
入選	小島 愛結	下関西高校1年
入選	川口 真衣	山口高校1年
入選	武居 美伶	下松高校1年
入選	沼 佳奈枝	下関西高校2年
入選	福田 有紀乃	下松高校2年
入選	星野 香菜	下関西高校1年
以上10名中国大会出場		

肉声ではなく録音した音声を提出することになりました。マイクを通したことによる音の広がりがないので、今までよりも未熟さが浮き彫りになりやすかったのではないかと思います。ですが、録音をすることにより、自分の読みを客観的によく知ることができました。そして新たな自分の読みを見発見することができたように思います。自分に合った作品を選ぶことももちろん大事ですが、今の私に必要なのはとにかく基礎練習をすることです。

放送部としての活動ができる時間も残り少ないです。最後に3年生になったときは、笑顔で引退できるように、さらに日々の練習を大切にしていきたいと思います。

#### 【オーディオメッセージ部門】

最優秀 「守トーン」	岩国高校
以上1作品 全国大会出場	
入選 「下関 埋立地と共に」	豊浦高校
以上3作品 中国大会出場	

#### 3 おわりに

例年、年3回開いている研修会を今年度は実施することが叶いませんでした。来年度もこの状況が続ければ、技術の継承という面で課題が生じてくることが予想されます。来年度はオンライン研修会の開催も検討していく必要があると感じています。

#### 【ビデオメッセージ部門】

最優秀 「ソフトな、わ・わ・わ」	山口高校
優秀 「Idea 一イデアー」	岩国高校
以上2作品全国大会出場	
入選 「夢に向かって音を奏でて」	下松高校
以上5作品中国大会出場	

全国総文、山口県大会の両方に出場した華陵高校

放送部2年生の山本結花さん

私は中学生の頃から、大会は全て朗読部門で参加してきました。大会ごとに様々な雰囲気の作品に挑戦し、自分の読み方や声を最大限活かすために色々と模索してきました。今回山口県大会で私が朗読したのは、鬱々とした劣等感を抱えている人間の独自シーンです。今まで読んだどの作品にも当てはまらないジャンルで、新しい道を発見したような心地になりました。私が大会に参加すると必ず指摘されていたことが、「読みが全体的に暗い」ということです。もっと明るく読もうとしてもなかなかうまくいかず、悔しい思いをすることは少なくありませんでした。今回はその弱みを逆手に取って上手く活かすことができたため、自分の中では大きな収穫があった大会です。

全国大会では現地に行けず残念でした。録音審査で、

## 各部門の報告

### 囲碁部門

理事長 石 部 潤  
(山口県立宇部高等学校教諭)

#### ＜令和2年度の主な活動報告＞

##### 1 囲碁研修大会(コロナ禍の影響で中止)

##### 2 第44回全国高等学校総合文化祭囲碁部門

第44回全国高等学校総合文化祭囲碁部門を8月3日、4日で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。以下に出場予定者を掲載します。

期日:8月3日(月)、4日(火)

場所:高知ぢばさんセンター

##### 《出場者予定者》

〈団体戦〉(男女混成3名)

沖田 瑞唯(柳井商工)

山田 健人(山口)

諸井 花音(下関西)

##### 〈個人戦〉(男女各1名)

男子 宮邊 林太郎(山口)

女子 吉本 光希(徳山商工)

##### 3 第42回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門

期日:10月18日(日)

場所:宇部高等学校

第42回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第32回大会を、10月18日(日)に宇部高校で開催しました。参加校は5校で、12名の生徒が参加しました。この大会で、来年度和歌山県で開催される第45全国高等学校総合文化祭囲碁部門大会の県代表と今年度鳥取県で開催された第24回中国高等学校囲碁選手権大会の県代表を決定しました。参加生徒は全部で4局を打ち、スイス方式によって順位を決定しました。その結果、男子個人戦優勝者が全国大会に出場することになりました。中国大会には、団体戦に団体優勝の高校、男子個人戦に団体戦出場者以外の男子の上位6名が出場しました。

#### 《大会結果》

○男子団体戦 優勝 宇部高等学校

○男子個人戦

優勝 赤尾 謙司(光高校)(個人戦)

2位 岡松 柚樹(徳山商工高校)(個人戦)

2位 木原 輝斗(宇部高校)(団体戦)

2位 伊達 敦哉(徳山商工高校)(個人戦)

5位 松吉 信(宇部高校)(団体戦)

6位 金子 碧斗(防府商工高校)(団体戦)

7位 岡田 裕生(防府商工高校)(団体戦)

8位 柳 悠介(山口高校)(団体戦)

12位 石川 裕貴(宇部高校)(団体戦)

○女子個人戦 不成立

以上男子9名は12月19日(土)・20日(日)に鳥取県倉吉市で行われた中国高等学校囲碁選手権大会に出場しました。また、男子上位1名は2021年8月3日(火)・4日(水)に和歌山県那智勝浦市で行われる全国高等学校総合文化祭囲碁部門に出場します。

なお、今年度中国大会については女子団体・個人戦は出場者なし。令和3年度全国高等学校総合文化祭については女子がいないため団体戦は、出場者なし。





(中国大会・対局風景)



#### 4 第24回中国高等学校囲碁選手権大会

期日:12月19日(土)・20日(日)

場所:鳥取県立倉吉体育文化会館

中国大会には、男子団体戦に宇部高校、男子個人戦に県予選の上位6名の選手が出場しました。

##### 《出場者と成績》

###### 〈団体戦〉

男子 宇部高等学校 0勝5敗6位

###### 〈個人戦〉

###### ○男子

赤尾 謙司 (光高校) 3勝2敗 12位

伊達 敏哉 (徳山商工高校) 2勝3敗 17位

柳 悠介 (山口高校) 2勝3敗 22位

金子 碧斗 (防府商工高校) 2勝3敗(1不戦勝) 23位

岡松 柚樹 (徳山商工高校) 1勝4敗 26位

岡田 裕生 (防府商工高校) 1勝4敗(1不戦勝) 27位

###### ○女子 団体・個人戦共に出場者なし。



## 各部門の報告

# 将棋部門

理事長 堀 達也

(山口県立下関西高等学校教諭)

本年度は、新型コロナウイルスのため、大会の中止や大会の内容変更などがあった。5月の山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は中止を決定し、全国高等学校総合文化祭将棋部門大会は、対局は行われず、WEBで栄光の記録やメッセージの紹介が行われた。WEB対局の意見があったようだが、公平性が保てるような実施は困難である。また、高校竜王戦も中止になった。

その後、状況が変わり、大会が実施可能になった。山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会は、防府市文化福祉社会館が条件付きで使用可能になり、大会が実施できた。親睦戦の縮小など例年とは異なる形であるが、順位決定ができてよかったです。

中国地区高等学校将棋選手権大会は、公共施設が利用できるかはっきりしなかったため、会場を徳山高等学校に変更し実施した。ただし、直前で一部の地域で新型コロナの感染が拡大し、出場辞退があったのは残念であった。山村 泰楊(慶進高校)が第2位という立派な成績であった。

山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会、中国地区高等学校将棋選手権大会では、選手・役員以外の立ち入りを制限したため、多くの方に見ていただくことができなかつたのが残念であった。

また、1月29日から行われる予定だった全国高等学校文化連盟将棋新人大会(兵庫)は中止になった。

来年度は、大会を楽しみにしている生徒のためにも、感染防止を徹底し県大会が予定通り実施できるように取り組みたい。

1 第42回山口県高等学校総合文化祭将棋部門  
令和2年5月23日(土)・24日(日) 防府市文化福祉社会館  
中止

2 第44回全国高等学校総合文化祭将棋部門  
令和2年8月5日(水)・6日(木)  
高知県高知市・ぢばさんセンター  
対局は中止。WEBで実施。

3 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会(第25回山口県高等学校将棋新人大会)

令和2年11月1日(日) 防府市文化福祉社会館

男子個人 参加12校48名

第1位 山村 泰楊(慶進高校)

第2位 石坂 駿(徳山高校)

第3位 重國 裕太朗(徳山高校)

岩坪 勘太(下関工科高校)

第5位 黒川 晋(防府高校)

吉田 翔(下関工科高校)

大庭 雅裕(大島商船高専)

神谷 一稀(徳山高校)

女子個人 参加2校4名

第1位 宮原 百花(下関西高校)

第2位 伊藤 未紗(徳山高校)

第3位 小串 美咲(徳山高校)

第4位 秋山 紗耶(徳山高校)

研修会(親睦戦) 予選0-2敗退者で実施。

研修会(指導対局)

指導 日本将棋連盟山口支部

北村公一氏・田中佳久氏



入賞者の写真



対局の様子

女子個人 参加13名

宮原 百花(下関西高校) 1勝3敗  
伊藤 未紗(徳山高校) 1勝3敗  
小串 美咲(徳山高校) 1勝3敗  
秋山 紗耶(徳山高校) 1勝3敗



対局の様子

#### 4 第19回中国地区高等学校将棋選手権大会

令和2年12月19日(土)・20日(日)

周南市・山口県立徳山高等学校

男子個人 参加30名

山村 泰楊(慶進高校) 4勝1敗(第2位)  
石坂 駿(徳山高校) 1勝3敗  
重國 裕太朗(徳山高校) 3勝2敗  
岩坪 勘太(下関工科高校) 3勝2敗  
黒川 晋(防府高校) 1勝4敗  
吉田 翔(下関工科高校) 1勝4敗  
大庭 雅裕(大島商船高専) 2勝3敗  
神谷 一稀(徳山高校) 2勝3敗



対局の様子

#### 5 第28回全国高等学校文化連盟将棋新人大会【前年度】

令和2年2月6日(金)～8日(日) 福島市・吉川屋

男子個人

山村 泰楊(慶進高校) 予選リーグ 3勝1敗・決勝トーナメント(第9位)  
大中 智哉(徳山高校) 予選リーグ 4勝0敗・決勝トーナメント(第5位)

女子個人

稻 亜樹佳(徳山高校) 予選リーグ2勝3敗  
上田 真由香(防府高校) 予選リーグ2勝3敗  
西村 奈々英(徳山高校) 予選リーグ1勝4敗

## 各部門の報告

# 小倉百人一首かるた部門

理事長 青 池 のぞみ

(山口県立小野田高等学校教諭)

### 1 部門の活動報告

小倉百人一首かるた部門が発足して8年が経ちました。年々、県内の競技かるた選手の人口が増え、専門部の活動も活発になっています。

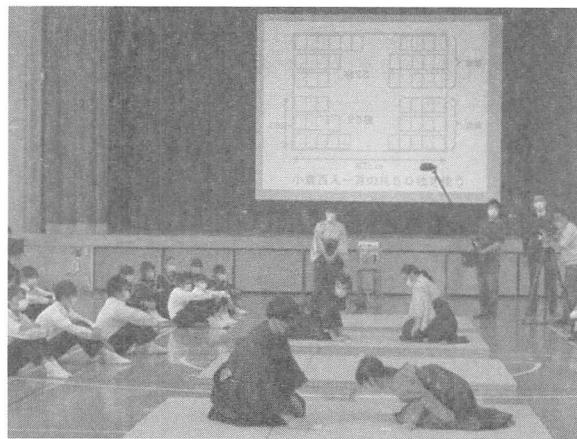
ところが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏の全国大会をはじめとする各種大会が、残念ながら中止となりました。「かるたの甲子園」と呼ばれる「全国高等学校小倉百人一首かるた選手権」や「全国高等学校総合文化祭」への出場という夢が絶たれ、悔しい思いをした3年生の選手もたくさんいたことと思います。しかし、選手たちは、活躍の場が制限される中でも、様々な工夫を凝らして、前向きに練習を続けています。

また、競技だけでなく、日本の伝統文化である「小倉百人一首かるた」に親しんでもらうための普及活動や地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。今年度は、山口県立小野田高等学校が、地域の小・中学校に出向いて、「かるた教室」の講師となり、様々な年代の方と交流を深めました。



地域の公民館の成人学級でのかるた教室

かるた競技は、「畳の上の格闘技」といわれています。静寂と美しい日本語の調べのなかで自己と向き合う高度な集中力と記憶力、相手に勝る瞬発力、そして常に冷静な判断力、長時間の対戦に耐え得る精神力や体力が求められる厳しい競技です。また、美しい振る舞いや相手を敬う人間性も大切になります。山口県では、かるた協会と協力しながら選手育成をおこなっています。かるたに向き合って集中し、日々厳しい稽古に取り組んでいる生徒の顔は、とても熱く輝いています。山口県から、未来の名人・クイーンが育つことを期待しています。



地元の小・中学校とのかるた交流会

### 2 第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 山口県予選会

9月13日(日)に、今年度初めての公式大会として、第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選会を開催しました。久しぶりの公式試合に、選手たちも気合を入れて臨みました。感染症予防のため、試合ごとに札を交換し、畳を消毒する等の対策を徹底しました。

団体戦 第1位 山口県立小野田高等学校A

第2位 慶進高等学校

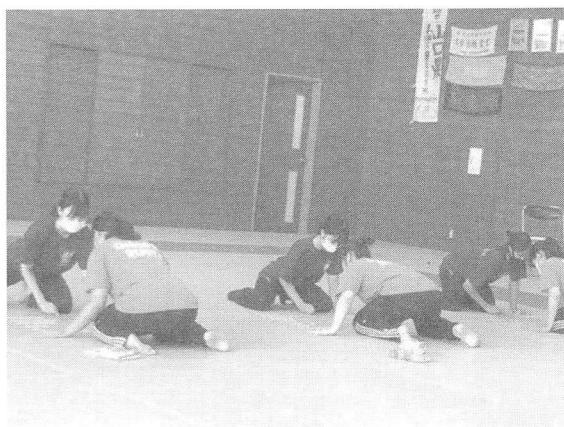
第3位 山口県立小野田高等学校B



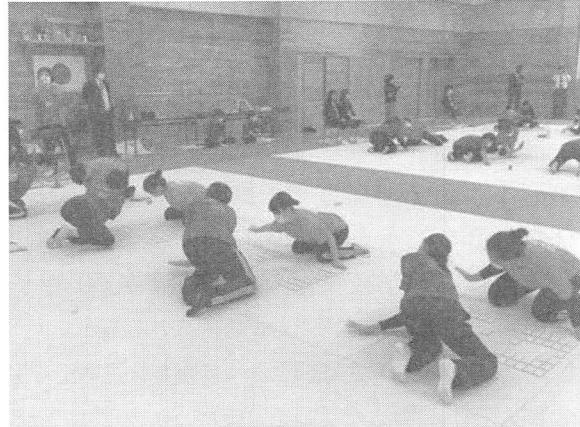
中国大会山口県予選開会式



中国大会



中国大会山口県予選



中国大会

### 3 第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会

11月7日(土)～8日(日)に、岡山県倉敷市の児島武道館で開催されました。中国5県の強豪チームが集い、緊張感あふれる大会となりました。山口県代表として、山口県立小野田高等学校が出場し、見事、優勝杯を手にすることことができました。

この結果、3月に東京で開催される予定の「第16回全国高校生かるたグランプリ」の中国ブロック代表としての出場権を山口県立小野田高等学校が獲得しました。「全国高校生かるたグランプリ」は、「かるたの春の甲子園」と呼ばれ、全国8ブロックを勝ち抜いた強豪10チームが参加します。無事に大会が開催され、小野田高校が中国ブロック代表として活躍することを祈念しています。

団体戦 第1位 山口県立小野田高等学校



中国大会優勝

## 各部門の報告

# 文芸部門

理事長 廣永幸恵

(山口県立宇部高等学校教諭)

本年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策のため、俳句甲子園山口県大会や、第22回高校生文芸道場中国ブロック大会（山口大会）等、予定していた様々な行事が中止せざるを得ない、異例づくめの年となりました。

しかし、そんな中で、県下の各校ではできる限り工夫しながら、地道に部活動に励んできました。

その活動の一端を紹介いたします。

### 散文部門

第44回全国高等学校総合文化祭  
「2020こうち総文WEB」に参加して

山口高等学校文藝部 顧問 久保智子

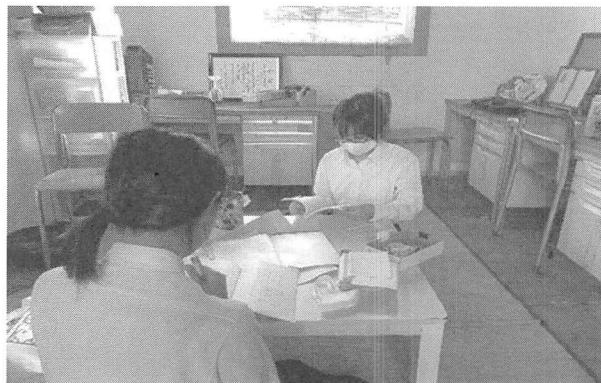
山口高校文藝部は校内でも長い伝統のある部です。しかし、四年前に私が顧問となってから、とにかく生徒たちが自由に好きな活動をするという感じで、新入生歓迎と文化祭に合わせて文芸誌を発行すること以外、外部からもわかる目立った活動はなく過ごしてきました。そんな中、現在三年生の横山なづなさんが昨年度山口県高校文芸コンクールに応募した小説が最優秀賞に選ばれ、今年度の高知総合文化祭に推薦されて参加することになりました。



散文部門代表の横山なづなさん（山口高校にて）

例年なら、高知で研修会に参加したり、講演を聞いたりするはずでしたが、コロナウィルス感染症の感染拡大のために、WEBでの実施、参加となりました。正直なところ、緊急事態宣言から学校が休校になって、三月頃には今年度の総合文化祭の実施は難しいのでは

ないかと思うようになっていました。何度も高知総合文化祭のWEBページをチェックしていましたが、はつきりしたことはわからず、中止の連絡も来ない寂寥りんの日々にもどかしい思いをしていたところ、WEBでの実施という連絡をいただきました。高知では、これまでの準備も相当大変だったと思うのに、急に切り替えてWEBで作品展示等をしてくださるとのこと、驚くと共に感動しました。



山口高校文藝部室での活動の様子

WEBでは、全国の様々な高校生の作品を自由に読むことができ、俳句甲子園で名前を聞いたことのある学校の参加もたくさんあり、学校紹介も興味深く見ることができました。現在の状況では最高の形での実施になったのではないかと思います。尽力してくださった方々に感謝の言葉しかありません。

横山さんにとっては、高知に行くことができていたら、大変貴重な経験になったはずなので、その点では残念でなりません。しかし、これからも作品を書き続けてくれるものと思いますので、何かすばらしい別の機会がきっとあるものと思っています。

### 詩部門

高知総合文化祭WEBに参加して

防府高等学校文芸部顧問 加嶋美子

今年度三年生の村田成美さんは、昨年度の山口県高校文芸コンクールに応募した『哀鯨歌』という詩で賞をいただき、高知県で開催される全国高等学校総合文

化祭に推薦されて参加することになりました。昨年の第21回高校生文芸道場中国ブロック文芸コンクールの小説部門で最優秀賞を受賞するなど意欲的に活動してきた生徒です。2019年の佐賀総合文化祭に参加した先輩の話を聞き、今回の参加を大変光栄に感じ、楽しみにしていました。今年度は、コロナウィルス感染症の感染拡大のために、WEBでの実施、参加となりました。これまでの準備とともに、WEBで作品展示等をしてくださった尽力に感謝するばかりです。ありがとうございました。

様々な機会を与えてもらったことに感謝しながら、今後も作品を書き続けてくれるものと思います。

### 短歌部門

光高等学校 2年 深谷 乃梨子

今回初めて総文祭に参加しました。現地の開催は実現しなかったのですが、休校中には、何首も短歌を作りました。自分の思いを表すのにどの言葉をあてはめていけばよいのか簡単にはいかない部分もあって大変でした。しかし、この難しさに向き合うことによって自分の楽しかった思い出や心に残っていることがはっきりと記録されていくような気がして自分の気持ちに正直になれました。

また、光高の部活動では、歌人の音羽晃先生を講師にお招きして短歌の講座を開いていただきました。「感動したことを素直に書く」とおっしゃっていたことがとても印象的でした。心を動かされた何かがあるからこそ歌が作れるということを改めて実感しました。

今回、ウェブ総文祭に参加したことによって、短歌を通して自分の気持ちに正面から向き合えるようになりました。もっとたくさんの表現方法を学んで幅広い種類の歌を作っていくたいです。応援してくださった皆様ありがとうございました。



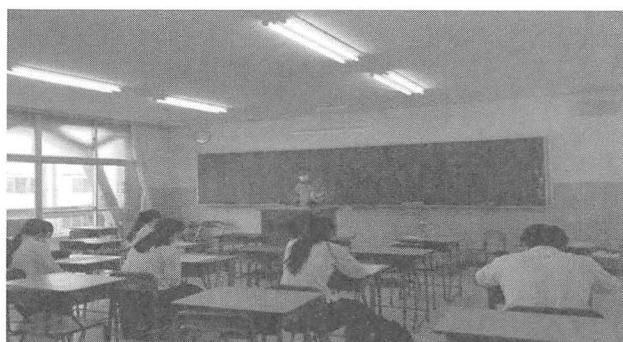
休校後の授業開始時期の深谷さん

光高等学校文芸部顧問 藤本 ゆり

今年度、光高校は光丘高校と再編統合されて、普通科に総合学科が加わって新しい光高校になりました。新しく部活動も増え、その一つが新聞・文芸部です。

4月の段階では、新型コロナウィルスの影響で休校となり、部員ゼロから、うれしい深谷さんの入部。授業再開後徐々に部員も増え、今は1、2年生計6人で活動しています。

文芸部としての活動はまだ開始したばかりで、部活動の時間に作品を書いたり、歌人の先生に講義をしていただいたりして力を養っています。



光高校で短歌の講義を受けている様子

9月の文化祭では季語について調べて展示発表したり、これまでの作品をもとに歌集を作ったりしました。そのほか、新聞・文芸部として学校新聞の発行、文化祭での展示発表（「COCOA って何？」）などにも取り組み、なかなか忙しくしています。

今回、ウェブ総文祭への出場について、学校全体から応援していただき、大変感謝しております。

また、この件をきっかけにほぼ15年前まで光高の文芸部が活動していたという情報を外部からいただきました。15年間、部活動としての文芸部は無くなっていたとのことですですが、せっかく活動を開始できたので持続を目標にみんなでがんばっています。



光高校文化祭時の活動の様子

## 俳句部門・文芸部誌部門

### 第44回全国高等学校総合文化祭

(WEB総文) レポート

徳山高等学校文芸部顧問 白濱 潤一郎

令和二年度の全国総合文化祭文芸部門に、徳山高校から、尾上純玲さん（俳句／2年次生）、荒木晴名さん（文芸部誌／2年次生）の2名が参加いたしました。このことにつきまして改めて感謝申し上げます。また、「初のWEB開催総文」への参加という貴重な体験をさせていただきましたことに併せてお礼申し上げます。

\*

尾上さん、荒木さんともに、四国高知の地へ参りましたことを昨年度より楽しみにしておりました。実際に現地へ足を踏み入れることは叶わず、それは残念でしたが、WEB上に公開された自分の作品を目にしたり、また、WEBであるからこそ通常よりも多くの人に自分たちの部誌を見ていただけたりしたことは、二人にとっても、私たち文芸部にとっても、大きな喜びがありました。

並大抵ではない苦労と工夫をされ、WEB開催を実現してくださった高知県の先生方、本当にありがとうございました。丁寧なメール連絡を幾度となくいただいたり、全国各地の学校との部誌交換を仲介してくださったり、開催前から事後まで、そのこまやかなお心遣いとお骨折りには感謝するばかりでした。

\*

徳山高校文芸部の生徒たちは、基本的にはここ数年変わらぬ活動を続けています。読書会をし、俳句を詠み、短歌を詠み、詩や散文を創作し、作品を批評し合って自分を相手を磨き、そして全員でのそれらの創作活動・文芸活動の成果として部誌や小冊子が出来上がり、また、運がよければ誰かの作品が賞をいただけたりします。

受賞のために部活動をしているわけではありませんが、賞をいただいたら、結果として全国の大会へつながったりすることが生徒たちの活動を励ましていることは確かです。そういう意味でも、全国総文は私たちにとってとても大事なものひとつです。その総文が今年度新型コロナ禍の中でも中止にならなかった、WEBで開催された、このことの意義は非常に大きかったと今改めて思っています。

\*

さて、変わらぬ活動の甲斐あってか、令和三年度の全国総文にも本校から何名かが参加させていただけることとなりました。ありがとうございます。今回WEB参加だった生徒は、再度、今度は作品とともに自分自身も開催の地を踏めることを今から期待しています。今後ともよろしくお願ひいたします。

## 第22回高校生文芸道場中国ブロック大会 (山口大会) 文芸コンクール

本年度の中国ブロック大会は、山口県開催で、11月14日（土）下関西高等学校セミナーハウス「旭陵館」で行う予定でしたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、参加形態の大会は中止とし、文芸コンクールのみ行うという、異例のかたちとなりました。

文芸コンクールには中国5県から31校188人369作品の応募がありました。

山口県内の入賞者は以下の通りです。

部門	結果	学校名	題名・初句	学年	氏名
小説	優良	徳山	星を数えて	1年	山本涼香
	優秀	下関西	甘かった	2年	木原綾音
詩	優秀	下関西	速報	2年	木原綾音
	入選	萩	二才の青さ と終着	2年	岡村美也
短歌	優秀	徳山	大将の	2年	尾上純玲
	優秀	光	夏休み	1年	渡邊颯菜
	優良	徳山	青天井	1年	三浦凪沙
	優良	徳山	叫び出し	1年	伊藤彩乃
	入選	徳山	前を行く	2年	田中来海
俳句	優秀	徳山	夏逝くや	2年	尾上純玲
	入選	徳山	金魚跳ねる	1年	三浦凪沙
	入選	萩	田植え時	2年	中小路愛玲

## 第42回（令和2年度）山口県高等学校総合文化祭兼 第18回山口県高等学校文芸コンクール

本年度の山口県文芸コンクールは13校78名91作品の応募がありました。

結果は以下の通りです。

優秀な作品は、本年度の第22回高校生文芸道場中国ブロック大会（山口大会）、来年度の第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）に参加します。

（但し、中国大会は新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止となりました）

部 門	選考結果	学 校 名	題 名・初 句	学 年	氏 名
散 文	最優秀	山口県立萩高等学校	命の選択	2年	岡村 美也
	優秀	山口県立西京高等学校	手に掛ける者	3年	佐藤 綾依
	優秀	山口県立下関西高等学校	純潔の君	2年	木原 綾音
	優良	山口県立防府高等学校	その言葉は	1年	伊原 真結子
	優良	山口県立下松高等学校	ファナティックラブ	2年	河村 あかり
	優良	山口県立防府高等学校	未来予知	1年	檜垣 碧空
	入選	山口県立下松高等学校	Unknown	2年	古木 優里
	入選	山口県立防府西高等学校	ウサギが語る、普通になる方法	2年	山本 楓夏
詩	最優秀	山口県立萩高等学校	春、と。	2年	岡村 美也
	優良	山口県立下関西高等学校	進む	1年	矢田部 南那
	優良	山口県立下関西高等学校	大漁旗	2年	木原 綾音
	入選	山口県立西京高等学校	姿見の彼女	3年	恒富 あい
	入選	山口県立下関西高等学校	有彩色	1年	長田 幸樹
短 歌	最優秀	山口県立徳山高等学校	大将の	2年	尾上 純玲
	優秀	山口県立徳山高等学校	青天井	1年	三浦 凪沙
	優良	山口県立徳山高等学校	大花火	2年	田中 来海
	入選	山口県立徳山高等学校	ビー玉と	1年	伊藤 彩乃
	最優秀	山口県立徳山高等学校	大将の	2年	尾上 純玲
	優秀	山口県立熊毛南高等学校	枇杷の実や	1年	五島 まどか
	優秀	山口県立徳山高等学校	四日目の	2年	田中 来海
	優秀	山口県立熊毛南高等学校	あの日見た	2年	河村 彩花
	優良	山口県立熊毛南高等学校	春一番	2年	藤會 蓮
	優良	山口県立柳井商工高等学校	ほうたるの	3年	浴本 拓哉
	優良	山口県立熊毛南高等学校	遠花火	2年	藤山 楠々
	入選	山口県立徳山高等学校	蜂来たる	2年	淺村 芽衣
	入選	山口県立柳井商工高等学校	太陽は	1年	上林 唯
	入選	山口県立徳山高等学校	鉄塔に	2年	中谷 陸斗
	入選	山口県立熊毛南高等学校	バスカヴィル	3年	足立 陸馬

## 各部門の報告

# 自然科学部門

理事長 石 田 純 一

(山口県立山口高等学校教諭)

### 1. はじめに

今年度、自然科学専門部では、「2020こうち総文」にて4分野の研究発表とポスター発表を行いました。参加校は、下関西高校(研究発表[物理][化学])、宇部高校(研究発表[生物][地学])、高川学園高校(ポスター発表[生物])でした。新型コロナウイルス感染症の拡がりを受け、Web SOUBUNという形になりましたが、発表を行った参加校の生徒は、いずれも主体的に研究に取り組み、その結果を自分たちなりに工夫してまとめ、発表しました。

自然科学分野の研究においては、オリジナリティーを明確に示すことや科学的根拠をもって思考することなど、多くの重要なポイントがあると言われます。普段であれば、生徒は校内で様々な先生方にアドバイスをいただき、時間をかけて研究内容をブラッシュアップしていくのですが、今年度は、感染症の拡がりを受け、どの学校も十分な研究活動を行うことが難しかったのではないかと思います。

しかし、そのような中でも、オンラインで他校とつなぎ、発表練習をしたり相互評価をしたりする学校があるなど、ピンチをチャンスに変えて前向きに取り組む学校や生徒の姿が見られました。



図1 宇部高校の生徒とオンライン合同セミナーを行う  
下関西高校の生徒

本県における自然科学部の活動は、まだまだこれからというところですが、今年度で部門立ち上げから10年になると言っています。10年という一つの節目になったいま、少しづつ活動の成果が見え始めてきたように感じますので、県内の自然科学に関わる先生方や生徒の皆さんと色々な実践に挑戦し、本県における自然科学探究の機運をさらに高めていきたいと考えています。

### 2. 「2020こうち総文」に参加した生徒からの参加報告と感想

以下に、「2020こうち総文」に参加した生徒の声を掲載します。

#### ■ 研究発表(物理)

「おてだまロボットについて」

山口県立下関西高校

永富 壮馬・瀬川 龍太郎・吉村 成貴

初めてのWeb 総文であったと同時に、研究発表も初めてだったので、どのように自分達の研究を発表するのか全く分からず、最善を尽くしましたが、他校の発表と比べると、まだまだこれから改善すべき点が多くあると感じました。他校の研究は、自分達が知らない物事についての研究が多く、また、今まで見たことのない観点の研究や面白いと思った研究が多数あり、勉強になることが多く、Web 総文に参加して大変良かったと思っています。

研究で苦労したことは、実験の条件を揃えることでした。始めに、実験の条件が揃っていないことに気づかずに入実験を続け、実験後にそのことに気づいて、実験を2回もやり直すことになってしまい、時間を浪費してしまいました。今後は、あらかじめ、実験結果の分析方法を考えることで、実験の条件をそろえて実験を実施していくことを思います。あと、ロボットが正確に動かなかったり、実験結果が予想と全く異なる結果が出たりし、想定外のことが起こり苦労しました。

また、研究が予定していた内容がすべて終らず、結果

をグラフ化するまでに至らなかったので、改善点がある発表となってしまいました。現在は、お手玉投射の研究からヒントを得て、ゴム鉄砲の研究をしています。お手玉投射の研究中の成功や失敗の経験を糧にするとともに、他校の研究方法を参考しながら、ゴム鉄砲の研究に活かしていきたいと思います。

#### ■ 研究発表(化学)

「植物中の錯イオンについて」

山口県立下関西高校

若藤 隆礼・西信 綾乃

私たちは、植物中の金属イオンの定量を目標に研究を始めました。しかし、研究がほとんど進んでいないときに、新型コロナウイルス感染症の予防の観点から学校は長期休業になり、研究を進めることができない状況が続きました。5月下旬には休業が明け、研究を再開しました。そのとき、研究ができる有難さを身に染みて感じました。しかし、研究を進めていく中で、様々な問題点が出てきました。

まず、休業前の予備実験では問題なく出来ていた植物試料の前処理法である灰化で問題が生じました。私たちが行った乾式灰化は、植物をるつぼ内で高温にして有機物を除去する処理ですが、るつぼ自体が高温に耐えられず、るつぼ内の釉薬が溶け、植物の灰化試料を作成するところで行き詰まってしまいました。なんとか、加熱方法を見直して、この問題を解決しました。今後も、今の研究を継続していくつもりですが、様々な問題に直面すると思います。しかし、今回の経験を糧に、諦めずに研究を進めていきたいと思います。

今年の総合文化祭は、Web 総文という形で開催されました。Web という新しい形式によって、新たな時代の総合文化祭という可能性を感じることができました。これも、実行委員会をはじめ、様々な方のご尽力があつて、はじめて成り立ったものだと思います。私たちの研究を誰かに見てもらえる舞台が存在することが何よりうれしく感じました。ありがとうございました。

#### ■ 研究発表(生物)

「プラナリアの生態について」

山口県立宇部高校

伊藤 優大

私の研究テーマは「プラナリアの生態について」である。水面に腹部を見せながら歩行する逆さ歩行に着目して研究してきたが、この行動は自然の中で常に見られるものではない。そのため、この行動 자체を何度も観察することが非常に困難であり、行動の原因を探るために何か月もの月日を使い、研究も難航し、苦しい思いをした。また、何度も実験を行い、そのたびに実験装置を整え、条件を統一することを心がけた。その結果、逆さ歩行の原因について考察することができ、喜びや達成感を得ることができた。

私はこの研究を通して、自然現象の素晴らしさを知ることができた以外にも、実験や検証などの小さな積み重ねが、大きな成果へつながるという努力の大切さを学んだ。今回、このような Web 総文に参加でき、他校生徒が様々な研究をしている姿を視聴できたことは、非常に貴重な経験であり、このような機会をつくっていただいた方々に感謝したい。そして、今回の経験を活かし、将来はまだ解明できない様々な生命現象をさらに解き明かしたいと考えている。

#### ■ 研究発表(地学)

「萩市笠山の風穴のメカニズム解析」

山口県立宇部高校

高山 理究

私は「萩市笠山風穴のメカニズム解析」というテーマで研究を行った。私がこの研究の中で最も印象に残っているのは、7月の観測で初めて風穴から冷風を観測したことである。それまでは風穴から冷気しか確認できなかつたが、その時初めて冷風を確認できた。そのことから「風穴Bは単なる岩の隙間ではない」と示されたことである。

この研究で最も大変だったことは実地観測でのデータ収集である。気温、風速、相対湿度を調べたが、その際、日光を避ける部分を作る、長時間の観測を行うため専用の器具を作る、各機器が示す値が一定になるまでに非常に長い時間をかけるなど、正確な観測を行うための様々な工夫をしたことが苦労した点である。しかし、努力の結果、仮説を検証するために必要な情報を収集できた。このよう

な経験を通じて、ただ闇雲にデータを集めるのではなく、事前にしっかりと実験計画を立て、地道に結果を積み重ねていくことの大切さに気付くことができた。

今回、このような Web 総文に参加し、他校の高校生の発表を視聴できたことは、非常に貴重な経験であり、このような機会をつくっていただいた方々に感謝したい。そして、この風穴の研究をこれからも進めていく上で、今回の経験を活かしたいと思う。

#### ■ ポスター発表(生物)

「オオサンショウウオの研究（8）」

学校法人山口高川学園 高川学園高校

荒地 香澄

他校でも同じようにサンショウウオを題材に研究をしている学校があり、ポスターを拝見してとても見やすく感じました。ポスターの見せ方の工夫を深めたいと思いました。

生き物を題材に研究をずっと続けていますが、一番苦労することは各生物の生存維持です。自粛期間、夏休みと学校に来ない期間中が長く続いたので、何度も再調製を行いました。ミジンコの様子は、私をはじめ他部員、先生と協力しながら行いました。

また、ブラインシュリンプを孵化させる調製を、オオサンショウウオを捕獲し粘液の採取する時期と合わせる必要があったので各班に分かれて円滑に作業が行えるようにしました。

今後も、実験計画通りに進めないことがあるときに備えてゆとりがある計画を立てていけたらと考えます。

### 3. おわりに

山口県からは、来年度の全総文「紀の国わかやま総文2021」に、研究発表とポスター発表の合計4分野で参加します。参加校は、下関西高校(研究発表[物理])、徳山高校(研究発表[化学])、高川学園高校(研究発表[生物])、宇部高校(ポスター発表[生物])の4校となり、今年度より1校増えました。各参加校の生徒たちがそれぞれの課題の解決に向かって、日々研鑽を積まれることを期待しています。

ぜひ、山口県に自然科学探究の「うねり」を起こしていきましょう。

# 自主事業・補助事業の報告

## 《自主事業》【青少年劇場小公演邦楽「しゃみせんいろいろ」】 下関南総合支援学校

令和2年10月9日

### 【生徒感想①】

私は、「三味線いろいろ」を鑑賞させていただいて三味線への考えが変わりました。私も三味線を弾けるようになって皆の前で演奏したいと思いました。「三味線いろいろ」に参加させていただき、ありがとうございました。



### 【生徒感想②】

三味線で、アニメの曲などを演奏されているのを聴いて、三味線でもいろいろなジャンルの曲が演奏できることに驚きました。そして、三味線には、いろいろな種類があり、音も違うことがわかりました。三味線の生の演奏を聴くことができてよかったです。



### 【生徒の感想③】

三味線の種類によって全く音が違つておもしろかったです。いろいろな曲を演奏されていて、三味線の印象が大きく変わりました。最近の歌や人気の歌も聴けてうれしかったです。



## 《自主事業》【巡回演劇「劇団のんた」】

美祢青嶺高等学校

令和2年10月19日



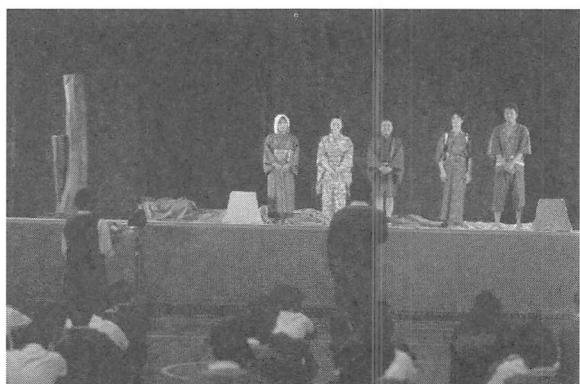
### 【生徒感想】

- オチの先を想像しようとしたけれど難しかった。お松が結構怖かった。
- 普段見ることができない劇を間近に見られていい経験が

できた。

- ・女人なのに本当に男の人に見えて表現力がすごいと思った。
- ・やはり好きなことを極めて楽しく取り組むことができると今回見たようなとても素晴らしいものができあがるんだなと感動しました。
- ・男役を女の方が演じていたことは驚いたけれど、その方は日常生活の中でどんな風に演じたらいいか、実際に男性の方に聞いたりしていると聞いてすごいなと思った。
- ・今よりも前の時代設定で、今の時代では普通の物でも昔の人だったら貴重な物になるので、そういうことを主に取り上げていてとても面白かったし、登場人物の絡みも面白かった。

- ・座敷童みたいな細かい動作や誰かがのぞいた時の、気づかせようと指をさしたりあきれた表情をしたりして、思わず笑ってしまいそうな、怒鳴りや泣く演技とは違う方向で上手でございました。
- ・見たことない”鏡”でみんながいろいろ勘違いをしてくストーリーがとても面白かったです。また、演劇を見られる機会はあまりないので、今回こんな貴重な体験ができてとてもうれしかったし、とても楽しかったです。
- ・座敷童がお手玉を投げて時間が止まったように見せていて、役者さんがきちんときれいに止まっていてすごいなと思いました。
- ・皆さん表現力がなくてドラマを見ているかのようでした。この公演を見られてよかったです。
- ・喜怒哀楽の表現を声や体で表現していてすごかったです。また、鏡を見たことがなく、4人ともそれぞれ勘違いをしてたところが面白かったです。また、声がハキハキしていてとても聞き取りやすかったです。
- ・服装も化粧も素晴らしい素敵世界へ見入ってしまいました。また見たいと思いました。ありがとうございました。
- ・昔の話だから、言葉とかの訛りで分かりづらいのかなと思っていましたが、見ていくうちにそれが劇を面白くしていることがわかりました。「～じや」という言い方がかわいらしかったです。みんなが散って終わってしまいましたが、その後座敷童が活躍するんだろうなと思うと、続きが見たくなりました。
- ・役を演じきっている姿を見て自分もやるときは思い切りやろうと思いました。
- ・本気の演技は生で見ると本当に違うなと思った。会話に不自然さというものが全く感じられず、本当の会話のようだった。演じ方や動き・話し方等含めアマチュアレベルではなくすごく高いレベルだと思って見入っていました。
- ・演技というものはしっかりと裏方がいて初めて成り立つものなのだということを改めて実感できました。
- ・終わり方が不思議だった。後日談があると良いなと思った。昔のような話し方が多くて難しい場面もあったが演技・声量・ジェスチャー等の補助のおかげで苦労することなく公演を見ることができた。
- ・鏡にだれが写っているのか言い争うときにそれぞれが大きい声で好きに言い合っているのに声がかぶつていなくて聞き取りやすく、さすがだなと思った。
- ・ステージ上が別世界のような感覚で、たった5人での世界観を出せているのがとてもすごかったです。
- ・昔の人がやっているかと思うくらいリアル感があって、見ていて楽しかった。
- ・ひとりひとりの全力さや演技に対してすごく心を込めてやっているのだと思った。どんどん先が見たくなるような魅力があり、女性が男性の役をやられるなど工夫がされており、本業かのような演技でとても楽しかったです。来年もあると嬉しいと感じました。
- ・仕事の合間に演技の練習をしていて、とてもエネルギーのある人たちなのかなと思った。これからも続けてほしいなと思った。
- ・とても久しぶりに劇を見させてもらいましたが、まつの役の演じていた高松さんの演技力に心を揺さぶられました。
- ・鏡1つで1時間の物語を作っていたのがびっくりしました。
- ・同じ舞台に上がってみたいなあと思いながら見ていました。
- ・本当に、演じているのではなくお松さんやおそでさん、与一さんやお父さんが存在しているようで、圧倒されました。学校で鑑賞できて本当に良かったです。
- ・テレビで演劇を見るはあるけど、生で見るほうが断然面白い！！って思いました。女の人のきれいですかわいいかったです！！
- ・着物を着せる場面や走っている場面など細かなところにも意識して演じられていたのがとてもよかったです。
- ・鏡を知らない昔の人々の純粋さがほほえましかったです。
- ・表現することが好きで、劇やミュージカルに大変興味があり、本日の公演がずっと楽しみでした。はじめて鏡をみると、こんな会話をもたらすのだと、面白かったです。私も表現したくなりました。
- ・私も皆さんのようにスラスラとつまらず、感情をこめて話せるようになりたいです。



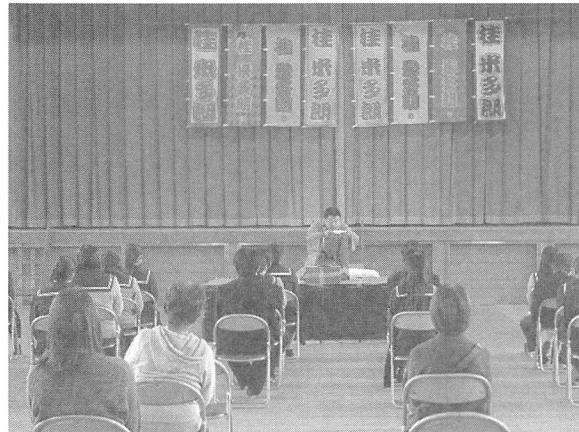
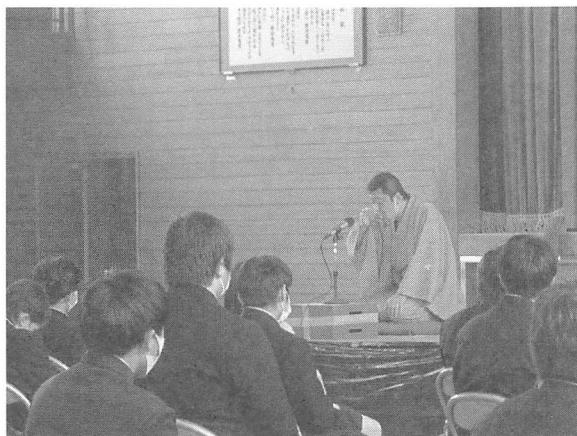
## 《自主事業》【青少年劇場小公演 話の伝統芸能「落語」】

防府高等学校佐波分校

令和2年11月17日

### 【生徒感想①】

落語のイメージは、高齢者が人が楽しむというもので、退屈してしまうかもと思っていたが、落語をみていくうちにどんどん語りに引き込まれていきました。そして、サービス精神が旺盛なので、とても楽しかったです。特に、1枚1枚脱いでいかれた時は、演出でも少しドキドキしました。



### 【生徒感想③】

聞き手の心をつかむような話し方がとても好きだった。話を理解しようとするたびに面白さの沼に引き込まれていくような気がした。話し方も抑揚により物語が頭の中につく入ってきました。



### 【生徒感想②】

私は今まで「落語」にあまり興味を持っていませんでした。笑点などあまり見たことがなかったので落語のおもしろさを知りませんでしたが、この公演をきくことにより、落語の面白さ、芸のすごさにとてもびっくりしました。この公演を鑑賞してよかったです。

## 《補助事業》【吉田豊ジャズコンサート】

宇部西高等学校

令和2年10月19日

### 【生徒感想①】

私は3年間コントラバスをやっていて吹奏楽では何回も見ていたけれど、ジャズのコントラバスは見たことがなく、ジャズコンサートがあると聞いた時うれしかったです。アルトサックスあんなに迫力を感じたのは初めてだったし、コントラバスの音があんなにはっきり聞こえたのはすごいなと思いました。ジャズは他の J-POP などにはない魅力があります。私はすごく好きです。40分という短い時間でしたが、すごく感動しジャズに興味を持ちました。今日、聞くことができてよかったですと改めて思いました。また、機会があったら聞いてみたいなと思いました。私は、自分が興味を持った



ことにもあきらめればかりで、挑戦できないことがあったけど、自分の好きなことを頑張って続けようと思いました。

### 【生徒感想②】

普段の生活の中でカフェやレストランに行ったときにジャズを聞くことはよくありました。このようなプロの演奏を生で聞くことがなかったのでとても良い経験になりました。

私の一番印象に残っているのは「Fun!」が始まったときの迫力です。また、私はディズニーが好きなので今日「いつか王子様が」が演奏されると聞いていたのでとても楽しみでした。「Happy Birthday」や「校歌」など私達に親しみのある歌をジャズバージョンで聞くことができて嬉しかったです。

花束を渡すときに「頑張ってね」とおっしゃってくださいました。貴重なお時間をさいて私達のためにコンサートを開いてくださってありがとうございました。

### 【生徒感想③】

今日のコンサートで改めてジャズの楽しさを味わうことが出来ました。自分の祖父がジャズが大好きで小さい時からジャズを聞いていました。トランペットをしたことがあってとても難しかったことを覚えています。音楽の良さを知ることが出来て良かったです。

今日の演奏で印象に残っているのはドラムです。“fun！”の曲の時のドラムの迫力がすごく残っています。おもわず身をのり出して見てしまいました。ドラムは足のリズムも手のリズムも全然違うからとても難しいんだろうなと思いました。ドラムの強弱があって迫力が本当にすごかったです。

と思いました。

もう一つは、ベースの弦が切れた時に焦らず演奏していた事がすごいと思いました。自分がもし何かの楽器を演奏していたとしてトラブルがあったら絶対焦ると思います。でも、焦らず演奏続けて本当にすごいと思いました。

4人の息がそろっているからこそあんなに素晴らしい演奏が出来るんだと思いました。

沢山練習することでどんどん上手に出来ると思いました。

本当に楽しくて落ち着ける演奏でした。ありがとうございました。

### 【生徒感想④】

4つの楽器のハーモニーがとてもはもついてきれいな音でした。どの楽器もめだってて1つ1つの音の個性がとても良かったです。ピアノは、本当に美しい音で、聞いて癒されました。ベースは弦が切れてもとてもいい音で吉田さんの指使いがとても細かくてすごかったです。ドラムスは、井上さんのおもいきりたたく感じがとても好きです。楽しそうだなと見てて思いました。アルトサックスは1番目立ちました。他の楽器を引っ張ってる感じでアルトサックスの役の大切さが分かった気がします。私は楽器を使うのが苦手で、今までうまく弾けた事はありません。だから、すごくかっこよく見えたし、楽しそうに見えました。とても素敵ないい時間でした。ありがとうございました。

## 《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

光高等学校

令和2年11月12日

### 【生徒感想①】

元野球部だったという藤田さんの言葉はとても響いてきました。

「夢がなくても焦らなくていいし、才能がなくてもその道はちゃんと歩いて行ける」という言葉には胸を打たれた。これから自分達はそれぞれの道へ歩きだしている。自分自身は明確な目標があるものの、この職業で大丈夫なのかと不安がある。でも、今日のこのコンサートでの言葉を聞き、失敗しても真っ直ぐ歩いて行こうと決心できた。これからの自分の人生がとても楽しみになれた。

音楽には、本当にたくさんの力があるのだなと思った。人を勇気づけたりするだけではなく、安心させてくれる音楽はやはりすごい。今日のこのコンサートで学んだことをこれから的人生で活かしていきたい。そしていつか夢を叶えて、藤田さんのように子供や色々な人を勇気づけてあげら

れるような人になりたいと心から思った。



### 【生徒感想②】

今日の芸術鑑賞会で一番印象に残ったのは、“音楽は修行”という藤田さんの言葉でした。

自分自身、音楽をやっている身として、普段の練習で上

手くいかないことも、失敗することがたくさんあります。しかし、それさえも修行として決してゴールすることのない道を真っ直ぐな瞳で見ている藤田さんを見て、藤田さんの歌を聞いて、とても勇気を頂くことができました。私は現在、音楽の教員になるため日々勉強中です。自分の限界を決めず、才能の有無に負けず、いつも自分ができる最高の演奏をするため頑張っていきたいです。

藤田さんは今回たくさんの曲を歌わされていましたが、藤田さんの歌声は感情を激しくゆさぶる地鳴りのようで、時に夏の日射しのようにギラギラと、時に秋の夕日のように切なく、曲ごとにくるくると違う姿を見せてくださったのでとても楽しかったです。

ピアノのソロでは“トルコ行進曲”が印象的でした。コロコ

ロとした音達が、ニコニコ、キラキラと輝いていました。今まで何度か体育館のピアノの音を聴いていましたが、あのピアノがあんな音を出すのかと驚きました。



## 《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

熊毛南高等学校

令和2年11月13日

### 【生徒感想①】

今年の芸術鑑賞会は、声楽家とピアニストの方が来てくれると聞いて、自分は将来声楽で音楽の教師になりたいと考えていたのでとても今日を待ち望んでいました。最初から大迫力の歌を聞いて、心がぐっと、「もっと聞きたい！」と感じるような感情になりました。カンツォーネの三曲は今まで中学か高校でみんなが聞いたことのある「帰れソレントへ」などを聞きました。失恋の曲とはっきりわかるくらい歌に感情がこもっていてとても勉強になりました。演奏の途中で藤田さんが歩いて歌いはじめたとき、他の方向からでもとても声の響きが伝わってきました。ffからppまでの音が会場全体まで伝わるところがさすが声楽家だと思いました。生の演奏を聞くことはあまりないのでとても貴重な時間でした。



### 【生徒感想②】

今回は、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

公演の途中では、私たちとともに関わりのあるお話をあり、私たちがこれから学校生活を送っていくうえで、とても大切なことや、やりきれない時があったとしても頑張ろうと思えるような素敵なお言葉をたくさんいただきました。音楽は今の世界を救う大切な存在で、人の心をいやす最高の贈り物だということがわかり、私も誰かにその温かい気持ちをとどけることができたり、温かい気持ちにさせることができたりできる人となりたいなと思いました。

本日はありがとうございました。「あんことマヨネーズ」のパンを食べてみたいなと思いました。



## 《補助事業》【藤田卓也テノールコンサート】

熊毛北高等学校

令和2年11月19日

### 【生徒感想①】

お忙しい中、私たちのためにコンサートをひらいていた  
だきありがとうございました。

ピアノ演奏、歌、感動したのはもちろんですが、1曲1曲  
ご丁寧に説明していただいたため、知らない曲でもとても  
楽しく聞くことができ、聞き入ってしまいました。失恋の「帰  
れソレントへ」「カタリ・カタリ」、そしてラブソング「オー・ソー  
レ・ミーオ」どれも曲ひとつひとつに思いが込められて、本  
当に感動しました。「かんぴょう」という曲では、藤田様がと  
ても笑顔で歌われているように見え、私もとても笑顔になりました。  
曲の中の摩擦音も非常に迫力があり、圧倒されました。  
「あんこまパン」という曲では、「味の素のマヨネーズ  
は～」「キューピーの酸味は～」「～という感じで」と話し言  
葉もそのまま歌にされていて印象に残ったし、とても明るく  
楽しい気持ちになりました！あんことマヨネーズ、きちんと  
“こしあん”“キューピーマヨネーズ”で試してみたいと思  
いました！！

ピアノの演奏「ノクターン」は、よく聞く曲で好きなので、とても心が和みました。また、オペラの話では、同じドロ  
ロロロンの音でもどろぼうを見つけたとき、ふられる手紙を見  
たときで異なる感じ方をすると聞き、違いを感じることができてとてもすごいと感じ、感動しました。

直接謝辞を述べることができ、良かったです。アンコールの曲、最後の最後まで素敵な演奏と歌声、本当にありがとうございました。コロナウイルスが流行り、大変かとは思いますが、頑張って下さい。



### 【生徒感想②】

今回の公演を聞いて、歌・音楽の力強さが伝わってきました。私は、テノール歌手の方の歌っている姿を生で見るのは初めてなので藤田様が歌いはじめたときあまりに力強く、驚きましたが、いろいろな曲を聴いているにいつの間にか音楽の世界に入り込んでしまいました。「オーソレミオ」という曲は、私が高校2年生のときの音楽の授業で歌つたことがあったのでとても聞きやすかったです。やはり、私たちとは違ってプロの迫を感じました。また、「かんぴょう」という日本の曲もおもしろく、楽しんで聞くことができました。岩佐様のピアノはとてもなめらかで聞いていてうつとりと聞き入ってしまうほど美しかったです。力強かったり、優しかったりの曲調によって音色が全然違い、すごいと思いました。あまり聞くことがなかったテノールの歌を聞き、心に残りました。本日は素敵な演奏、ありがとうございました。



# 山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度(62~63は昭和、1~30は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

☆はコロナ禍により中止したもの。

番号		自 主 事 業				補助事業
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室		
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座
1	周防大島 安下庄校舎	63, 7, 25	4, 10	10, 21, 28		26, 27
	久賀校舎	63	3			
2	岩国	1				
	坂上分校	63, 11	5, 26	3		
	広瀬分校	63, 14, 21	17	20, 26		
3	岩国総合	1, 30	11			
4	高森		2			
5	岩国商業	3		62, 15		
	定時制東分校					
6	岩国工業		2	6, 8		
7	柳井		7	11, 29		19
8	柳井商工		11, 14	1, 4, 11, 14, 27		
9	熊毛南	63, 19(分), 27, R1	6, 17	12, 24		20, 26, 28, 30, R2
10	田布施農工	15(分), 18(分)	3, 18, 20, 27	5, 24	16	22
11	光	63, 20(定)	8, 23	17		21, 29, R2
12	光丘		8, 11		14	28, R1
13	下松	63, 7, 12	15			
14	華陵	63	8	1		R1
15	下松工業		1			
16	熊毛北		2, 14	63, 7	R1	R2
17	徳山	4(定), 8(定), 10(定)	15		12	
	徳山北分校	63, 21	4, 11	8		20
	鹿野分校	3, 10	9	1, 16		
18	新南陽	63	22	25	5	14
19	徳山商工	63, 1, 5		3, 4	7	
20	南陽工業	1, R1	62			
21	防府					23
	佐波分校	63, 7, R2	27	R1		
22	防府西	1	10			
23	防府商工	63(定), 1	12, 30		6	
24	山口	62(定), 15(定), 16(定)	2			27
	徳佐分校	63(分), 25, 27	63, 10, 20	13		
25	山口中央	63, 10, 12, 13	R2☆, R3※			22, R1
26	西京	62	4		7	R1
27	山口農業		5, 21		3	24
28	宇部	63				
29	宇部中央	1(定), 14(定)	10, 19		63, 26	30
30	宇部西		14, 28		10, 23	26, 27, 30, R2
31	宇部商業	63	62, 6		3	
32	宇部工業	2, 13	8			
33	小野田	63(定), 19(定)		22, 27(定)	25	R2☆, R3※
34	厚狭	1	15, 21		9, 18	28
35	小野田工業	63(定)			4	
36	美祢青嶺	4, 22	63	R2	17, 20, 29	10
37	田部		1, 13		18	20
38	西市		63	22	27	23

## 山口県高等学校文化連盟自主事業・補助事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度(62~63は昭和、1~30は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校 ☆はコロナ禍により中止したもの。

番号		自 主 事 業				補助事業	
		青少年劇場小公演	山口県交響楽団	巡回演劇教室			
				劇団のんた	宇部芸術座	下関海峡座	
39	豊浦						
40	長府	1				26, 30	
41	下関西					19, 28, 29(定)	
42	下関南	22					
43	下関北・豊北	62	3, 28			15, 22, 29	30
44	下関工科	62, 28	12, 25, 29			2, 6, R1	19, 20, 22
45	下関双葉						
46	大津緑洋 大津校舎	63	12		5		
	日置校舎	63, 5, 9, 15	19		25	2, 13, 23	22
	水産校舎		12				
47	萩	63	3			6	24
	奈古分校	11, 17	1, 9, 24			26	
48	萩商工	63	6, 7, 16	23	9	2, 4, 12, 17	
49	下関中等教育				5		
50	岩国総合支援	3, 13, 16, 30	24	10, 19			
51	田布施総合支援	6, 17	62, R2☆, R3※	30			
52	周南総合支援	15, 17, 20					
53	徳山総合支援	1, 11					
54	防府総合支援	62, 63, 3, 12, 26, 28	16				
55	山口南総合支援						
56	山口総合支援	19	14				
57	宇部総合支援	63, 5, 14	1, 9	18			
58	下関南総合支援	63, 3, 8, 10, 16, R2	7, 25			1	
59	下関総合支援	2, 6	16				
60	豊浦総合支援	11, 13, 16, 23, 29	26			19, 21	20, 27
61	萩総合支援	6, 24					
62	下関商業	14(定)					
63	高水			62			
64	柳井学園	6		63			
65	聖光		2, 30				
66	山口県桜ヶ丘		R1				
67	誠英				7	9	
68	高川学園						
69	中村女子	63	2, 5, 22		11	16	R1
70	野田学園	63	18				
71	山口県鴻城		10, 29		12, 15		
72	宇部鴻城		7		9		
73	慶進	29	23		30		21
74	成進						
75	宇部フロンティア香川		1, 5, 15		11, 19, 28, R2☆, R3※		
76	サビエル						
77	下関国際		R1			R2☆, R3※	
78	梅光学院						
79	早鞆						
80	下関短期大学付属	62, 63, 4, 7, 24, 26			8	28	
81	長門		6				
82	萩光塩学院						

# 令和2年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

月	日	事業	会場
4	13 15	会計監査 第1回企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校(書面決議により実施)
5	8 18 19 19 20 23 ~ 24 30	評議員会 第42回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第1回実行委員会 令和元年度集録「高文連」発行 公益社団法人全国高等学校文化連盟地区代表者会議 公益社団法人全国高等学校文化連盟定期総会 自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」 県高校総合文化祭「将棋部門」(主管:下関西高校) 県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」(主管:慶進高校)	山口市:セントア山口(書面決議により実施) 下関市民会館(中止)  東京:アイビーホール(中止) 東京:アイビーホール(書面決議により実施) 宇部フロンティア大学付属香川高校(中止) 防府市文化福祉会館(中止) 小野田高校 武道場(中止)
6	6 9 9 18 19 ~ 20 20 26 30	専門部研修合唱講習会 山口県文化連盟 総会・文化交流パーティー 自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」 第42回県高校総合文化祭総合開会式(主管:下関南高校・下関中等教育学校) 県高校総合文化祭音楽4部門発表会(主管:下関西高校・下関工科高校・下関支部) 県高校総合文化祭「日本音楽部門」(主管:柳井高校) 第30回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議 自主事業「山口県交響楽団演奏会」	山口県教育会館(中止) 山口市:ホテルニュータナカ(中止) 下関国際高校(中止) 下関市民会館(中止) 下関市民会館(中止) サンピームやない(中止) 山口県下関市:下関グランドホテル(書面決議により実施) 田布施総合支援学校(中止)
7	24 ~ 26 31 ~ 6 31 ~ 6	第42回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 (公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会 第44回全国高等学校総合文化祭	滋賀県 大津市 近江神宮(中止) 高知県(中止) 高知県(総合開会式 高知市文化プラザかるぽーと)(中止)
8	1 29 ~ 30	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 第42回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第2回実行委員会 第31回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	高知県:高知市(中止) (中止) 東京:国立劇場大劇場(中止)
9	13	中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選会(主管:慶進高校)	小野田高校 武道場
10	9 9 18 19 19 20 24 ~ 25 28 31	県高校総合文化祭「文芸部門」(主管:宇部高校) 自主事業 青少年劇場小公演 邦楽「しゃみせんいろいろ」 県高校総合文化祭「囲碁部門」(主管:宇部高校) 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 自主事業 巡回演劇「劇団のんた」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 県高等学校総合文化祭「演劇部門」(主管:長府高校) 自主事業「山口県交響楽団演奏会」 県高校総合文化祭「放送部門」(主管:徳山高校)※アナウンス・朗読部門	宇部高校 下関南総合支援学校 宇部高校 宇部西高校 美祢青嶺高校 小野田高校(中止) 下関市民会館(西部)・シンフォニア岩国(東部) 山口中央高校(中止) 山口県健康づくりセンター(会場及び日程変更) おのだサンパーク
11	6 ~ 8 7 ~ 8 7 ~ 8 7 12 13 13 ~ 15 14 17 19 20	県高校総合文化祭「写真部門」(主管:防府高校) 第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 山口県中学校文化連盟第16回総合文化祭 防府大会 県高校総合文化祭「放送部門」(主管:徳山高校)※AP・VM部門 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 県高校総合文化祭「美術・工芸部門」(主管:高水高校) 第22回高校生文芸道場中国ブロック大会(コンクールのみ実施) 自主事業 青少年劇場小公演 話の伝統芸能「落語」 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 第1回専門部理事長会	オンライン開催 岡山県倉敷市:児島武道館 防府市公会堂(中止) WEB開催 光高校 熊毛南高校 シンフォニア岩国 山口県:山口県立下関西高等学校セミナーhaus(中止) 防府高校佐波分校(慶進高校辞退により変更) 熊毛北高校 山口中央高校
12	3 ~ 4 4 19 ~ 20 19 ~ 20 19 ~ 20	第32回全国高等学校文化連盟研究大会(新潟大会) 全国高等学校文化連盟実務担当者会議 第19回中国地区高等学校将棋選手権大会 第58回中国地区高等学校演劇発表会 第24回中国高等学校囲碁選手権大会	新潟県新潟市:朱鷺メッセ(中止) 新潟県新潟市:朱鷺メッセ(中止) 山口県周南市:慈山高校 岡山県岡山市:岡山市立市民文化ホール 鳥取県倉吉市:倉吉体育文化会館
1	1 20 28 ~ 30 30 ~ 31	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回専門部理事長会 第29回全国高等学校将棋新人大会 第6回中国地区高等学校放送コンテスト	山口中央高校または大殿中学校 山口中央高校(中止) 兵庫県尼崎市:(中止) 岡山県倉敷市:倉敷市芸文館(オンライン開催)
2	15	第2回企画運営委員会	山口中央高校
3	13 ~ 14 17 25	第16回全国高校生かるたグランプリ 令和2年度中国地区高文連実務担当者会議 マーチングバンド・バトントリック講習会 第39回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート(主管:防府高校)	東京都:文京シビックセンター(中止) 山口県山口市:山口県立山口中央高等学校(中止) 防府市:防府市公会堂

【その他】 各専門部会………部会長校を中心に開催予定  
 各専門部研修会…県下各地において開催予定  
 ※やまぐち高校生2020メモリアル文化部発表会  
 ※巡回演劇教室3公演中2公演中止、巡回音楽教室(山響)2公演中止、青少年劇場小公演2公演実施。  
 ※補助事業5公演中1公演中止。

# 令和2年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

## 令和2年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

収入総額	26,708,661円
支出総額	13,785,314円
差引残高	12,923,347円 (次年度繰越金)

収入の部		(単位：円)		
区分	予算額	決算額	増減額(減△)	摘要
繰 越 金	6,453,039	6,453,039	0	
加 盟 費	19,028,500	18,982,900	△ 45,600	
内 訳 全 日 制 定時制・総合支援学校	18,966,000 62,500	18,922,800 60,100	△ 43,200 △ 2,400	600円×31,538人(昨年度より1,093人減) 50円×1,202人(昨年度より68人減)
補 助 金	3,715,000	1,233,782	△ 2,481,218	山口県より
内 訳 県総文祭 全国総文祭	1,213,000 2,502,000	1,213,000 20,782	0 △ 2,481,218	主催 下関地区 主催 高知県
調整基金から繰入	0	0	0	
雑 収 入	100	38,940	38,840	令和2年度スプリングコンサート会場費返金 利息等
合 計	29,196,639	26,708,661	△ 2,487,978	

支出の部		(単位：円)		
区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運 営 費	2,380,600	1,577,583	803,017	
内 訳 事務費	600,000	515,799	84,201	記念品 事務機器維持費 消耗品費 パソコン HP管理費等 県総文バネル
内 訳 通信費	260,000	232,997	27,003	振込手数料 電話 郵便 運送料等 サーバ一代
内 訳 分担金	520,600	520,600	0	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費
内 訳 賃 金	1,000,000	308,187	691,813	事務補助賃金
会 議 費	2,070,000	182,511	1,887,489	
内 訳 会議費	370,000	182,511	187,489	企画運営委員会・理事長会旅費 大会参加費 役員保険料 会議用茶等
内 訳 旅 費	1,700,000	0	1,700,000	全国会議(高知) 中国地区会議(山口) 研究大会(新潟) 県内視察 全て中止
事 業 費	17,026,466	5,470,007	11,556,459	
内 訳 県総文祭	7,252,466	2,424,447	4,828,019	7部門実施 その他部門は準備費用
内 訳 全総文祭	4,610,000	62,348	4,547,652	通信費 web用著作権料
内 訳 自主事業	1,924,000	804,000	1,120,000	自主事業3公演 補助事業4公演(自主4補助1中止)
内 訳 大会補助金	250,000	234,498	15,502	特別支援学校文化祭、中国大会補助金(将棋、文芸)
内 訳 専門部会費	2,750,000	1,707,444	1,042,556	研修費 全国分担金 役員旅費・保険等
内 訳 印刷費	190,000	237,270	△ 47,270	集録 県総文バネル A4封筒、第7回全総文記録集複製
内 訳 中高連携費	50,000	0	50,000	中高文連交流事業 中止
調 整 基 金	4,000,000	4,000,000	0	
予 備 費	3,719,573	2,555,213	1,164,360	やまぐち高校生メモリアル文化発表会補助金
合 計	29,196,639	13,785,314	15,411,325	

## 令和2年度 2028全国高等学校総合文化祭基金決算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
0	4,000,000	4,000,000

## 令和2年度 調整基金会計決算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
4,000,000	0	4,000,000

上記の通り相違ありません

令和3年 久月/3日 監事

原井 五郎  


監事

藤村 慎一  


# 令和3年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事 業	会 場
4	13 21	会計監査 第1回企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
5	7 12 18 29 29 ~ 30	評議員会 第43回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第1回実行委員会 令和2年度集録「高文連」発行 公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会（中止・書面決議により実施） 山口県高等学校合唱講習会 県高校総合文化祭「将棋部門」（主管：下関西高校） 県高校総合文化祭「小倉百人一首かるた部門」（主管：慶進高校）	山口市：セントコア山口（中止・書面決議により実施） 下関市民会館 東京：オリンピックセンター国際交流棟 国際会議室 山口県教育会館 防府市文化福祉会館 小野田高校 武道場
6	4 5 ~ 6 7 19 25	第43回県高校総合文化祭総合開会式（主管：下関南高校・下関中等教育学校） 県高校総合文化祭音楽4部門発表会（主管：下関西高校・下関工科高校・下関支部） 山口県文化連盟 総会 県高校総合文化祭「日本音楽・郷土芸能部門」（主管：柳井高校） 第31回中国地区高等学校文化連盟 理事会及び関係者合同会議	下関市民会館 中止・代替行事を実施 山口市：ホテルニュータナカ サンビームやない（中止・代替行事を実施） 鳥取県米子市：米子ワシントンホテルプラザ
7	23 ~ 25 31 ~ 6 31 ~ 6	第43回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 (公社) 全国高等学校文化連盟各専門部会 第44回全国高等学校総合文化祭	滋賀県 大津市 近江神宮 和歌山県 和歌山県（総合開会式 和歌山ビッグホール）
8	1 28 ~ 29	(公社) 全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議 第43回県総文祭総合開会式・音楽4部門発表会 第2回実行委員会 第31回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	和歌山県：和歌山市 東京：国立劇場大劇場
9	7 12	自主事業「山口県交響楽団演奏会」 第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選（主管：長府高校）	田布施総合支援学校 小野田高校 武道場
10	8 14 17 18 21 ~ 23 27 27 28 29	県高校総合文化祭「文芸部門」（主管：宇部高校） 自主事業 青少年劇場小公演「しゃみせんいろいろ」 県高校総合文化祭「囲碁部門」（主管：宇部高校） 自主事業 巡回演劇「劇団のんた」 自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」 県高等学校総合文化祭「演劇部門」（主管：宇部高校） 補助事業「藤田卓也テノールコンサート」 自主事業「山口県交響楽団演奏会」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」	宇部高校 宇部総合支援学校 宇部高校 柳井学園高校 下関国際高校 下関市民会館 徳山高校 山口中央高校 小野田高校 田布施農工高校
11	1 2 6 6 6 ~ 7 8 11 ~ 14 11 ~ 14 13 ~ 14 13 ~ 14 17	補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 補助事業「吉田豊ジャズコンサート」 県高校総合文化祭「放送部門」（主管：山口高校） 第23回高校生芸道場中国ブロック大会 県高校総合文化祭「書道部門」（主管：美祢青嶺高校） 自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」 県高校総合文化祭「写真部門」（主管：周南総合支援学校） 県高校総合文化祭「美術・工芸部門」（主管：徳山高校） 第24回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会 山口県中学校文化連盟第17回総合文化祭 岩国大会 自主事業 青少年劇場 はなしの伝統芸能「落語」 第1回専門部理事長会	熊毛南高校 熊毛北高校 山口県健康づくりセンター 島根県出雲市：ビッグハート出雲 おのだサンパーク 宇部フロンティア大学付属香川高校 周南市美術博物館 周南市美術博物館 広島県広島市：東区民文化センター シンフォニア岩国 下関北高等学校 山口中央高校
12	9 ~ 10 10 18 ~ 19 18 ~ 19 25 ~ 26	第33回全国高等学校文化連盟研究大会（島根大会） 全国高等学校文化連盟実務担当者会議 第21回中国地区高等学校将棋選手権大会 第59回中国地区高等学校演劇発表会 第25回中国高等学校囲碁選手権大会	島根県松江市：島根県民会館 島根県松江市：島根県民会館 広島県広島市：東区民文化センター 広島県呉市：呉信用金庫ホール（呉市民文化ホール） 島根県出雲市：バルメイト出雲
1	27 ~ 29	山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会 第2回専門部理事長会 第30回全国高等学校将棋新人大会	山口中央高校または大殿中学校 山口中央高校 徳島県徳島市：
2	5 ~ 6	第7回中国地区高等学校放送コンテスト 第2回企画運営委員会	広島県広島市：JMSアステールプラザ 山口中央高校
3	28	令和3年度中国地区高文連実務担当者会議 第17回全国高校生かるたグランプリ マーチングバンド・バトルワーリング講習会 第40回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート（主管：下関南高校）	鳥取県米子市：鳥取県立米子工業高等学校 東京都文京区： 会場、日程は協議中 下関市生涯学習プラザ
【その他】 各専門部会……部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定			
※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室（山響）2公演、青少年劇場小公演2公演 ※補助事業5公演			

# 令和3年度 山口県高等学校文化連盟 会計予算書・調整基金会計予算書

## 令和3年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

収入総額	35,142,000円
支出総額	35,142,000円

(単位：円)

収入の部				
区分	予算額	前年度予算額	増減額(減△)	摘要
繰 越 金	12,923,347	6,453,039	6,470,308	
加 盟 費	18,503,500	19,028,500	△ 525,000	
内 訳	全 日 制 定 時 制 · 総合支援学校	18,441,000 62,500	18,966,000 62,500	△ 525,000 0 600円×30,735人 (875人減見込) 50円×1250人
補 助 金	3,715,000	3,715,000	0	山口県より
内 訳	県 総 文 祭 全国総文祭	1,213,000 2,502,000	1,213,000 2,502,000	0 主催 下関地区 主催 和歌山県
調整基金から繰入	0	0	0	
雑 収 入	153	100	53	利息等
合 計	35,142,000	29,196,639	5,945,361	

(単位：円)

支出の部				
区分	予算額	前年度予算額	増減額(減△)	摘要
運 営 費	2,319,800	2,380,600	△ 60,800	
内 訳	事務費 通信費 分担金 賃金	500,000 300,000 519,800 1,000,000	600,000 260,000 520,600 1,000,000	△ 100,000 40,000 △ 800 0 記念品 事務機器維持費 消耗品費 HP管理費等 県総文ペネル 振込手数料 電話 郵便 運送料等 サーバー代 全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 県文連会費 事務補助賃金
会 議 費	2,400,000	2,070,000	330,000	
内 訳	会議費 旅費	400,000 2,000,000	370,000 1,700,000	30,000 300,000 県内会議(高文連主催) 旅費 大会参加費 役員保険料 会議用茶等 全国会議(和歌山) 中国地区会議(鳥取) 研究大会(島根) 県内視察
事 業 費	18,571,796	17,026,466	1,545,330	
内 訳	県 総 文 祭 全 総 文 祭 自 主 事 業 大 会 补 助 金 専 門 部 会 費 印 刷 費 中 高 連 携 費	7,347,796 6,000,000 1,924,000 150,000 2,910,000 190,000 50,000	7,252,466 4,610,000 1,924,000 250,000 2,750,000 190,000 50,000	95,330 1,390,000 0 △ 100,000 160,000 0 0 総合開会式 各部門大会開催費 生徒旅費補助 引率旅費補助 運搬費 参加負担金 自主事業7公演 补助事業5公演 特別支援学校文化祭補助金 研究大会(島根)補助金 研修費 全国分担金 役員旅費・保険等 集録 県総文ボスター 賞状 中高文連交流事業
感染症対策事業費	5,000,000	0	5,000,000	県総文祭への助成金
調整基金	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000	2028全総文祭基金へ
予 備 費	3,850,404	3,719,573	130,831	
合 計	35,142,000	29,196,639	5,945,361	

## 令和3年度 2028全国高等学校総合文化祭 基金予算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
4,000,000	3,000,000	7,000,000

## 令和3年度 調整基金会計予算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度末残高
4,000,000	0	4,000,000

# 山口県高等学校文化連盟規約

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

### (事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

### (目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

### (事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化活動行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

### (組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

## 第2章 役 員

### (役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干人
- (3) 評議員 各加盟校に1人
- (4) 支部長 7人
- (5) 専門部会長 16人
- (6) 専門部理事長 16人
- (7) 監事 2人
- (8) 参与 若干人

### (役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする、ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

### 第3章 会議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げる通りとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
  - (2) 企画運営委員会
  - (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
  - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
  - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

### 第4章 会計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

## 第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

## 第6章 雜則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

### 附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

昭和 62 年 4 月 1 日制定
平成 元年 4 月 1 日改正
平成 2 年 4 月 1 日改正
平成 3 年 4 月 1 日改正
平成 4 年 4 月 1 日改正
平成 6 年 4 月 1 日改正
平成 8 年 4 月 1 日改正
平成 9 年 4 月 1 日改正
平成 15 年 4 月 1 日改正
平成 16 年 4 月 1 日改正
平成 18 年 4 月 1 日改正
平成 20 年 4 月 1 日改正
平成 21 年 4 月 1 日改正
平成 22 年 4 月 1 日改正
平成 23 年 5 月 6 日改正
平成 25 年 5 月 10 日改正

# 山口県高等学校文化連盟諸規程

## [会計規程]

- 第1条 この規定は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。
- 第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え全ての経理内容を記入するものとする。
- 第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。
- 第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

各在籍生徒数に以下の金額を乗じたもの。但し、在籍生徒数は当該年度5月1日現在とする。

(全日制生徒)	600円
(定時制、特別支援学校高等部生徒)	50円

- 第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

昭和62年4月1日制定  
平成4年4月1日改正  
平成5年4月1日改正  
平成8年4月1日改正  
平成20年4月1日改正  
平成23年5月6日改正  
令和元年5月10日改正

## [事務局規程]

- 第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第2条 事務局に次の職員を置く。  
(1) 事務局長  
(2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係
- 第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。
- 第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。
- 第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

昭和62年4月1日制定  
昭和62年7月14日改正  
平成23年5月6日改正

## [ 表彰規程 ]

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

### (表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

### (文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

- (1) 人格、識見共に優秀と認める者。
- (2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

### (その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めた者)

### (優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、各専門部において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

### (功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

### (優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

## 附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

平成元年4月1日改正

平成2年4月1日改正

平成6年4月1日改正

平成8年4月1日改正

平成15年4月1日改正

平成18年4月1日改正

平成24年5月11日改正

平成25年5月10日改正

平成26年5月9日改正

# 山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

## 〔 旅費支給基準 〕

- 第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。  
第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。  
第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費の引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

ただし、特殊な事情がある場合はその都度協議し会長が決定する。

## 〔 調整基金細則規定 〕

- 第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。  
第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。  
第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。  
第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

## 附 則

- 1 この規定は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

昭和 62 年 4 月	1 日	制定
昭和 63 年 4 月	1 日	改正
平成 元年 4 月	1 日	改正
平成 11 年 4 月	1 日	改正
平成 13 年 4 月	1 日	改正
平成 16 年 4 月	1 日	改正
平成 22 年 4 月	1 日	改正
平成 28 年 5 月	13 日	改正

## 令和2年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	所属校
会長	開地元典	山口中央高校
副会長	椎原伸彦 竹村和之 藤部秀則	徳山高校 萩高校 宇部フロンティア大学付属香川高校
参与	木村香織	山口高校
支部長	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	河口郁史 高橋 等 椎原伸彦 小土井 実 辻岡博之 山田哲也 竹村和之
監事	藤本慎一郎 原井 進	防府商工高校 西京高校

### 専門部

専門部	会長	理事長	所属校
演劇	大田真一	近藤真美	防府西高校
合唱	竹村和之	松屋まみ	萩高校
吹奏楽	辻岡博之	中村 亮	宇部高校
器楽・管弦楽	宮木由紀子	秋本 隆	下関南高校
日本音楽	前田茂雄	谷口たかし	高水高校
吟詠剣詩舞	休部	休部	休部
マーチングバンド・バトントワリング	辻岡博之	中村 亮	宇部高校
美術・工芸	高橋 等	島田憲貢	柳井高校
書道	宮木由紀子	河合和子	下関南高校
写真	小土井 実	尾崎勝利	防府高校
放送	椎原伸彦	田中祐子	徳山高校
囲碁	辻岡博之	石部 潤	宇部高校
将棋	山田哲也	堀 達也	下関西高校
小倉百人一首かるた	土井 浩	青池のぞみ	小野田高校
文芸	辻岡博之	廣永幸恵	宇部高校
自然科学	木村香織	石田純一	山口高校

### 事務局

職名	氏名	所属校
事務局長	西村正浩	山口中央高校
事務局員(総務)	渡辺由美子	山口中央高校
事務局員(会計)	佐々木靖子	山口中央高校
事務局員(庶務)	舛井美佐江	嘱託

## 令和3年度 山口県高等学校文化連盟役員

職名	氏名	所属校
会長	大村 勇	山口中央高校
副会長	杉山昌史 徳田 充 藤部秀則	岩国高校 徳山高校 宇部フロンティア大学付属香川高校
参 与	木村香織	山口高校
支部長	岩国支部 柳井支部 徳山支部 山防支部 宇部支部 下関支部 長北支部	杉山昌史 高橋 等 徳田 充 小土井 実 辻岡博之 山田哲也 竹村和之
監 事	藤村慎一郎 原井 進	防府商工高校 西京高校

### 専門部

専門部	会長	理事長	所属校
演劇	村田修一	石田千晶	光高校
合唱	清水利宏	田中 瞳	野田学園高校
吹奏楽	辻岡博之	中村 亮	宇部高校
器楽・管弦楽	宮木由紀子	秋本 隆	下関南高校
日本音楽	古谷方正	古田正彦	宇部鴻城高校
吟詠剣詩舞	休部	休部	休部
郷土芸能	古谷方正	古田正彦	宇部鴻城高校
マーチングバンド・バトンツーリング	辻岡博之	中村 亮	宇部高校
美術・工芸	高橋 等	島田憲貢	柳井高校
書道	金石芳朗	鏡 証子	美祢青嶺高校
写真	小野倫代	尾崎勝利	周南総合支援学校
放送	木村香織	向井俊恵	山口高校
囲碁	辻岡博之	真當良洋	宇部高校
将棋	山田哲也	堀 達也	下関西高校
小倉百人一首かるた	待水清信	藤野恭平	慶進高校
文芸	辻岡博之	廣永幸恵	宇部高校
自然科学	木村香織	石田純一	山口高校

### 事務局

職名	氏名	所属校
事務局長	西村正浩	山口中央高校
事務局員(総務)	黒瀬高志	山口中央高校
事務局員(会計)	佐々木靖子	山口中央高校
事務局員(庶務)	丸山智子	嘱託

# 全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定  
向川栄美作詞  
乗松美紀作曲

1. てをのばせばほら きつとだれかがささえてくれる  
2. よびかければほら きつとだれかがこたえてくれる

みーわ たせー ば ほら なかもがいつでもそばにいる きみ  
こころ をひらけ ば ほら なかもはいつでもまつている

は ひとりじやない さあ ある きば だ そ う  
は ひとりじやない さあ あは きば だ そ う

ぼくら のぶんか を つくづる たためー に  
ぼくら のぶんか を つくづる たためー に

## 全国高文連の歌

一、手を伸ばせばほり  
きつと誰かが支えてくれる  
見渡せばほり  
仲間がいつでもやまといる  
君は一人じやない  
さあ歩きだそう  
僕等の文化を創るために

二、呼びかけばほり  
きつと誰かが応えてくれる  
心を開けばほり  
仲間はいつも待つている  
君は一人じやない  
さあ翔こう  
僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟

**「高文連」編集委員**

(各部門)

演	劇	近藤 真美	(防府西高等学校)
合	唱	松屋 まなみ	(萩高等学校)
吹	奏 楽	中村 亮	(宇部高等学校)
器 楽・管 弦 楽		秋本 隆	(下関南高等学校)
日 本 音 楽		谷口 たかし	(高水高等学校)
マーチングバンド・パントワーリング		中村 亮	(宇部高等学校)
美 術・工 芸		島田 憲貢	(柳井高等学校)
書 道		河合 和子	(下関南高等学校)
写 真		尾崎 勝利	(防府高等学校)
放 送		田中祐子	(徳山高等学校)
囲 暮		石部 潤	(宇部高等学校)
将 棋		堀 達也	(下関西高等学校)
小倉百人一首かるた		青池 のぞみ	(小野田高等学校)
文 芸		廣永 幸恵	(宇部高等学校)
自 然 科 学		石田 純一	(山口高等学校)

事務局長	西村 正浩	(山口中央高等学校)
事務局員(総務)	渡辺 由美子	(山口中央高等学校)
事務局員(会計)	佐々木 靖子	(山口中央高等学校)
事務局員(庶務)	舛井 美佐江	

令和2年度  
山口県高等学校文化連盟集録  
**「高文連」**

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局  
〒753-0043 山口市宮島町6-1  
山口県立山口中央高等学校内  
電話 083-922-0032  
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／岩崎奈津  
(岩国高等学校1年)  
題名「宇宙みたいに広い」

